

授 業 要 綱

2025 年度（令和 7 年度）

理学療法学科 夜間部

専門学校 社会医学技術学院

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	基礎力養成講座										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 DP1	人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
	DP2 DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3 DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									○
	DP4 DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

ディプロマポリシーで掲げる理学療法士養成への円滑な導入を図るために、社医学での学生生活上のマナー、スタディスキル、キャリア形成、ストレスマネジメントを学ぶこと。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 本校が求める学生生活上のマナーを習得できる。
2. 本校で求められるスタディスキルを習得できる。
3. 本校での学生生活を楽しめる方法を習得できる。
4. 医療人としてのスキルを理解し、実践する事ができる。

《学生の留意点》

理学療法士養成教育の初年度の導入が円滑に進むために設定された科目です。学院のアドミッションポリシーを理解し、自分と他者を理解しながらこの科目を楽しんでください。

《成績評価の方法》

当日課題70% (5×14回)、ノート提出課題30%とする。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験から臨床現場に即した授業を展開します。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	長屋	オリエンテーション	本コースの目的、目標、成績評価について、学習管理システム (Google Classroom) の使い方、学院の利用方法、学習方法
2	講義・演習	長屋	社医学生の一員としてのルール	挨拶/礼、手洗い、名札着用、メールの書き方、時間管理、報連相など
3	講義・演習	長屋	「自分を知る」	【自己紹介・自己分析】得意・不得意や目標設定、仲間に伝えるワーク
4	講義・演習	長屋	「他者を知る」	【仲間の理解と傾聴】ペアワークで相手の話を聴き、理解する練習
5	講義・演習	長屋	チームワークの基本	グループ活動での役割分担や協力する力を身につけ、社医学のイベントを盛り上げる
6	講義・演習	長屋	時間管理とスケジュール管理・学習方法	授業・課題・生活リズムを整える方法を共有する
7	講義・演習	長屋	医療現場におけるコミュニケーション能力	患者さん、家族、多職種の理解と配慮、情報収集の方法や接し方の基礎を知る
8	講義・演習	長屋	図書の利用方法	図書を利用した学習方法、学習の環境整備を学ぶ
9	講義・演習	長屋	学習方法①	基礎テスト（今までの解剖学・生理学の授業の中から配分）を行い、国家試験、定期試験への準備をする
10	講義・演習	長屋	学習方法②	見直せるノートを作成する
11	講義・演習	長屋	先輩との対話	上級生は如何に学んで来たか
12	講義・演習	長屋	医療安全の基本的な考え方	KYTを用いて事故予防、ヒヤリハット、危険予知の基礎を学ぶ
13	講義・演習	小島	キャリア教育①	「仕事をする」ということ
14	講義・演習	外来講師	キャリア教育②	必修！ 基本の就活マナー講座：東京しごとセンター多摩
15	講義・演習	長屋	メンタルヘルス	ハラスメントとコンプライアンス、ストレスマネジメント（マインドフルネス）

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	情報社会と情報リテラシー										
担当者氏名	村上 知也、江川 賢一、坂田 晋一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

私たちの生活を取り巻く「情報社会」の現状を理解し、正しい情報収集の方法、統計学を用いた情報の吟味、情報セキュリティ、さらに情報を取り扱う上でのマナーについて理解すること。

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

必要に応じて提示する。

《目標行動(SBO)》

- 1) 「根拠に基づいた理学療法」を理解できる。
- 3) 現代社会での「情報」の意義を説明できる。
- 3) 問題解決のための情報収集ができる。
- 4) 統計学を用いて情報を吟味できる。
- 5) 情報を取り扱う上でのセキュリティやマナーに配慮できる。

《学生の留意点》

情報社会の中で、医療分野へのデジタル技術の活用や進展が急速に拡大しています。本科目は、基本的な情報に関する知識から情報処理のための基本的統計学を習得し、専門分野へ応用することを目指した科目です。4～14回はオンデマンド型授業になります。

《成績評価の方法》

各回の課題で評価する（100％）。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における中小企業診断士、スポーツ科学の研究者、理学療法士としての実務経験を授業内容に活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	坂田	情報リテラシー①	学院の情報リソースを活用しよう（坂田）
2	講義・演習	坂田	情報リテラシー②	EBPT：根拠に基づいた理学療法（坂田）
3	講義・演習	坂田	情報リテラシー③	問題解決のためのEBPT（坂田）
4	講義	村上	情報力とは	情報力とは（村上）
5	講義	村上	数字を読む力～数字に騙されないために～	数字を読む力（村上）
6	講義	村上	今どきのIT①	AIの活用について～その他最近のデジタル活用（村上）
7	講義	村上	今どきのIT②	SNS、情報マナー、セキュリティ等について（村上）
8	講義	村上	情報収集と整理力	アナログとデジタルでの収集、フレームワーク（村上）
9	講義	村上	思考力	思考法の種類と実践（村上）
10	講義	江川	統計学①	医療統計の基礎（江川）
11	講義	江川	統計学②	情報の整理：データの種類（江川）
12	講義	江川	統計学③	グラフの活用：分布を調べる（江川）
13	講義	江川	統計学④	記述統計：特徴を明らかにする（江川）
14	講義	江川	統計学⑤	推測統計：予測する（江川）
15	講義	江川	統計学⑥	検定と推定：データをよりよく理解する（江川）

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	バイオメカニクス										
担当者氏名	帯刀 隆之										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法学の基礎のため、現象としての身体運動をバイオメカニクスの観点から考察できるようにする。

《解剖学・生理学・運動学等の基礎医学的知識と関連させ、健康な人の心身の仕組みの説明に適應できるようにする》

《目標行動(SBO)》

1. てこの原理と生体への適用を説明できる
2. 力の作用のベクトル表現、運動現象のグラフ表現、姿勢の記述 ができる
3. 身体重心の位置、求め方 を説明できる
4. 床反力と圧中心、関節モーメント の作用を姿勢や動作を見て言える
5. 立ち上がり動作、歩行のバイオメカニクス を説明できる

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）60%、授業毎の課題 40%
オンライン型授業となった場合は、毎回の視聴と課題提出が期末試験受験のための条件となります。

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学 第7版』。医歯薬出版。2025。
平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版。文光堂。2012。

《参考図書》

P. D. Andrew他訳：『筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版』。医歯薬出版。2018。
Kirsten G'otz-Neumann著、月城慶一他訳『観察による歩行分析』。医学書院。2005

《学生の留意点》

ごく初歩的な物理が基盤となります。
理解にとまどうときは、即、疑問を質問してください。クラスメート同士でも教え合いながら、学習を継続するようにしてください。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	帯刀	バイオメカニクスとは	コースオリエンテーション [運動の観測・観察、力のベクトル表現_1]
2	講義・演習	帯刀	導入(用語)	骨と関節の運動、基本運動方向表現、運動の面と軸
3	講義・演習	帯刀	姿勢の記述(観察)	基本運動方向表現の適用と応用
4	講義・演習	帯刀	運動を表わす	運動現象のグラフ表現とその理解
5	講義・演習	帯刀	てこの原理	てこの原理と生体への応用、力のベクトル表(ベクトルの合成と分解)
6	講義・演習	帯刀	身体重心	身体重心をてこの原理から求める、重心の位置と変位
7	講義・演習	帯刀	(振り返り)	授業前半の理解の確認
8	講義・演習	帯刀	力の作用	床反力と圧中心の理解、ベクトル表現
9	講義・演習	帯刀	関節モーメント_1	モーメントとは回転力、身体運動は回転運動
10	講義・演習	帯刀	関節モーメント_2	姿勢保持時の関節モーメント
11	講義・演習	帯刀	立ち上がり動作_1	動作観察と分析、動作の相分け、関節運動
12	講義・演習	帯刀	立ち上がり動作_2	関節モーメント、身体重心の位置・変位
13	講義・演習	帯刀	歩行_1	歩行時の身体重心・圧中心の変位と挙動
14	講義・演習	帯刀	歩行_2	歩行相分けと名称、下肢関節運動(矢状面運動のみ)
15	講義・演習	帯刀	歩行_3	歩行時の床反力ベクトルと関節モーメント

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	医療コミュニケーション論										
担当者氏名	小島 肇										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

基本的な医療者としてのコミュニケーションスキルを習得するために、医療コミュニケーションを概観し、基本的なコミュニケーションスキルと医療現場で求められる初歩的なコミュニケーションスキルを習得すること。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

石井ひろの：『ヘルスコミュニケーション入門』。大修館書店。2020。

《目標行動(SBO)》

1. 社会人として必要なコミュニケーションスキルができる。
2. 医療コミュニケーションについて説明できる。
3. 初歩的な医療面接スキルを模倣できる。
4. 共同意思決定の概要が説明できる。
5. コーチングの概要が説明できる。

《学生の留意点》

医療者としてのコミュニケーションの重要性を理解し、その基本的なスキルを習得して、臨床実習で実地経験を積み重ねて学習することを期待します。また、本科目は、初級バラスポート指導員認定のための基準カリキュラムを含んだコースになります。

《成績評価の方法》

各回のワークシート（5点）の合計（75%）と実技試験（25%）で評価する。

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、理学療法士が担当し、その実務経験を活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	小島	オリエンテーション	「コミュニケーション」とは
2	講義・演習	小島	基本的コミュニケーションスキル①	人間関係論①
3	講義・演習	小島	基本的コミュニケーションスキル②	人間関係論②
4	講義・演習	小島	基本的コミュニケーションスキル③	「傾聴」
5	講義・演習	小島	基本的コミュニケーションスキル④	「質問」
6	講義・演習	小島	基本的コミュニケーションスキル⑤	ワーク 「教職員との対話」
7	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル①	ヘルスコミュニケーション
8	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル②	「共感」① 感情の多様性
9	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル③	「共感」② ネガティブ/ポジティブな場面
10	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル④	医療面接
11	講義・演習	小島	障がいのある方との交流	「小金井市視覚障害者の会」の皆様
12	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル⑤	「アサーション」
13	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル⑥	「共同意思決定」へのサポート
14	講義・演習	小島	医療者としてのコミュニケーションスキル⑦	行動変容を促すコミュニケーションスキル 「コーチング」
15	講義・演習	小島	まとめ	実技練習 医療面接

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅰa										
担当者氏名	秋元 義弘										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、骨学、関節靭帯学、筋学について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男訳：『解剖学アトラス第10版』、文光堂、2012年。

《参考図書》

渡辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』、廣川書店、2013
〔準教科書扱い〕
横地千代：『カラーアトラス 人体解剖と機能』、医学書
院、2013
野村嶺：『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖
学』、医学書院、2020年。

《目標行動(SBO)》

1. 全身の骨の種類と構造、発生と成長について説明できる。
2. 全身の関節の構造と種類について説明できる。
3. 筋の分類と作用、補助装置、上肢の筋について説明できる。

《学生の留意点》

骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）100%

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師としての実務経験を活かした科目として
いる。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	秋元	解剖学総論	解剖学の概要、解剖学用語
2	講義	秋元	"	解剖学の概要、解剖学用語
3	講義	秋元	骨学総論	骨の種類と構造、骨の発生と成長
4	講義	秋元	"	骨の種類と構造、骨の発生と成長
5	講義	秋元	骨学各論	体幹の骨格（脊柱）
6	講義	秋元	"	体幹の骨格（脊柱）
7	講義	秋元	"	体幹の骨格（胸郭）
8	講義	秋元	"	体幹の骨格（胸郭）
9	講義	秋元	"	上肢の骨格
10	講義	秋元	"	上肢の骨格
11	講義	秋元	"	下肢の骨格
12	講義	秋元	"	下肢の骨格
13	講義	秋元	"	頭蓋の骨格
14	講義	秋元	"	頭蓋の骨格
15	講義	秋元	復習	復習
16	講義	秋元	復習	復習
17	講義	秋元	関節靭帯学総論	関節の一般構造と種類
18	講義	秋元	"	関節の一般構造と種類
19	講義	秋元	関節靭帯学各論	体幹、上肢の関節
20	講義	秋元	"	体幹、上肢の関節
21	講義	秋元	"	下肢の関節
22	講義	秋元	"	下肢の関節
23	講義	秋元	筋学総論	筋の分類と作用、筋の補助装置
24	講義	秋元	"	筋の分類と作用、筋の補助装置
25	講義	秋元	筋学各論	頭頸部の筋
26	講義	秋元	筋学各論	頭頸部の筋
27	講義	秋元	"	上肢帯の筋
28	講義	秋元	"	上肢帯の筋
29	講義	秋元	"	上肢の筋
30	講義	秋元	"	上肢の筋

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅰb										
担当者氏名	秋元 義弘										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるために、筋学、内臓学について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男訳：『解剖学アトラス第10版』。文光堂。2012年。

《参考図書》

波辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』。廣川書店。2013年。〔準教科書扱い〕

横地千包：『カラーアトラス 人体一解剖と機能』。医学書院。2013年。

野村雄：『標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学』。医学書院。2020年。

《学生の留意点》

骨格標本をはじめとする人体標本に対して礼を失することのないよう真摯な態度で接すること。

《目標行動(SBO)》

1. 体幹、下肢の筋について説明できる。
2. 内臓全般（消化器、循環器、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器）の構造と配置について説明できる。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記）100%

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師としての実務経験を活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	秋元	筋学各論	体幹筋
2	講義	秋元	"	体幹筋
3	講義	秋元	"	下肢帯の筋
4	講義	秋元	"	下肢帯の筋
5	講義	秋元	"	下肢の筋
6	講義	秋元	"	下肢の筋
7	講義	秋元	内臓学総論	内臓の一般的構造と体内における配置
8	講義	秋元	"	内臓の一般的構造と体内における配置
9	講義	秋元	内臓学各論	消化器系
10	講義	秋元	"	消化器系
11	講義	秋元	"	消化器付属腺
12	講義	秋元	"	消化器付属腺
13	講義	秋元	"	循環器系（心臓と血管）
14	講義	秋元	"	循環器系（心臓と血管）
15	講義	秋元	"	循環器系（リンパ系）
16	講義	秋元	内臓学各論	循環器系（リンパ系）
17	講義	秋元	"	呼吸器系
18	講義	秋元	"	呼吸器系
19	講義	秋元	"	内分泌系
20	講義	秋元	"	内分泌系
21	講義	秋元	"	泌尿器系、男性生殖器系
22	講義	秋元	"	泌尿器系、男性生殖器系
23	講義	秋元	"	女性生殖器系
24	講義	秋元	"	女性生殖器系
25	講義	秋元	"	発生学
26	講義	秋元	"	発生学
27	講義	秋元	"	感覚器系（皮膚、味覚、嗅覚）
28	講義	秋元	"	感覚器系（皮膚、味覚、嗅覚）
29	講義	秋元	"	感覚器系（眼、耳）
30	講義	秋元	"	感覚器系（眼、耳）

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	解剖学Ⅱ										
担当者氏名	宮東 昭彦										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

人体の正常な形態とその形成過程及び機能的意義について理解を深めるとともに、より発展的な内容を持つ他科目の理解を助ける基礎的な概念を整理するため、神経系、脈管系について学ぶ。

《テキスト》

平田幸男 訳：『解剖学アトラス』原著第10版、文光堂、2012。

《参考図書》

渡辺正仁 監：『PT・OT・STのための解剖学』、廣川書店、2013。

野村 嶺 編：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学第6版』、医学書院、2024。

《目標行動(SBO)》

1. 中枢神経系の基本構造と部位名を、主に断面像を用いて、機能と関連付けて説明できる
2. 中枢神経系の伝導路について説明できる
3. 脳神経と脊髄神経を列挙、走行経路と神経支配を説明できる

《学生の留意点》

新しい概念や用語が多いため、講義ごとの復習が重要。
質問はGoogle Classroomにて随時受け付ける。

《成績評価の方法》

期末筆記試験 90%、復習テスト 10%。復習テストは、前週に予告の上、講義時間中に複数回実施する。再試験は、期末筆記試験の成績不振者を対象として行う。

《実務経験のある教員による科目》

解剖学教室の外來講師による神経系、脈管系を講義形式で実施する。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	宮東	神経系序説(宮東)	神経系についての基礎知識 神経系とは、中枢神経と末梢神経、神経細胞と神経線維
2	講義	宮東	神経系総論(宮東)	シナプスとニューロン系、脳の発生と構成、中枢神経系の基本構造
3	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	神経組織とグリア細胞、灰白質と白質、神経核と線維路について
4	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	脳室系・髄膜と脳脊髄液系、脳の方向と断面
5	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	大脳の構造、大脳皮質(新皮質、古皮質、原皮質)
6	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	大脳新皮質の機能局在：知覚領・運動領・連合中枢
7	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	大脳基底核と髄質 線条体と内包
8	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	間脳の構造、松果体、視床と視床核、視床下部、下垂体
9	講義	宮東	中枢神経系(宮東)	脳幹(中脳、橋、延髄)の構造と伝導路、網様体
10	講義	宮東	中枢神経系、伝導路(宮東)	脊髄の構造と機能局在、伝導路
11	講義	宮東	中枢神経系、伝導路(宮東)	小脳 構造、機能による区分、伝導路
12	講義	宮東	中枢神経系、伝導路(宮東)	運動性の伝導路：錐体路ほかの脊髄下行路と運動を調節する伝導路
13	講義	宮東	中枢神経系、伝導路(宮東)	感覚性の伝導路：体性感覚の種類と伝導路
14	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脳幹と脳神経、脳神経1～2(嗅神経、視神経)
15	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脳神経3,4,6(眼筋を支配する脳神経)、視覚反射
16	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脳神経5,7(顔面感覚と運動の制御)
17	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脳神経8,9(内耳神経、舌咽神経)
18	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脳神経10～12(迷走神経、副神経、舌下神経)
19	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	脊髄と脊髄神経、デルマトーム、脊髄神経後枝、頭神経叢
20	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	腕神経叢と上肢の神経
21	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	腰神経叢、仙骨神経叢と下肢の神経
22	講義	宮東	末梢神経系(宮東)	自律神経系 交感神経と副交感神経
23	講義	宮東	脈管系総論(宮東)	循環器系概論 血液循環とリンパ管
24	講義	宮東	脈管系(宮東)	心臓 心筋、弁、血管、刺激伝導系、心臓の位置
25	講義	宮東	脈管系(宮東)	脈管系総論 血管の構造、動脈、静脈、毛細血管
26	講義	宮東	脈管系(宮東)	大動脈、大静脈とその直接枝
27	講義	宮東	脈管系(宮東)	局所解剖学からみた血管 頭頸部、上肢
28	講義	宮東	脈管系(宮東)	局所解剖学からみた血管 体幹、下肢
29	講義	宮東	脈管系(宮東)	臓器の血管系、腹腔内臓と門脈系
30	講義	宮東	脈管系(宮東)	胎生期の血液循環、リンパ系の概要、理学療法に必要な解剖学(聴診や血管・神経触診など)

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学 I a										
担当者氏名	渡辺 圭一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

正常な生体機能がどのような機序で発現し、維持されているかについて理解を深めるため、「膜電位の発生機序」、「神経細胞の働き」、「体内での情報伝達機能」、「身体を動かす際の中枢神経の働き（生理）及び末梢神経と効果器（筋）の働き」について学ぶ。また、基本的なリハビリテーション医学の解釈に必要な基礎的知識を修得する。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』。文光堂、2022年。

《参考図書》

適宜紹介

《目標行動(SBO)》

1. 神経筋機能について電気特性と物質特性から説明できる。
2. 筋の機能について電気特性と物質特性から説明できる。
3. 身体を動かす際の中枢神経の働き（生理）について説明できる。
4. 身体を動かす際の末梢神経と効果器（筋）の働き（生理）について関係づけることができる。

《学生の留意点》

授業時間のみでは理解は深まりません。自分に適した自己学習方法を見つけ、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。生理学は解剖学とならんで医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも幅広く深い知識が問われます。そのことを意識して授業に臨んで下さい。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における臨床検査技師としての実務経験を活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	渡辺	概論	生理学概論, 神経生理学概論
2	講義	渡辺	細胞機能の基礎	細胞の環境, 構造・構造・機能調節
3	講義	渡辺	細胞機能の基礎②	細胞膜を通過する物質移動
4	講義	渡辺	細胞機能の基礎③	細胞膜を通過する物質移動
5	講義	渡辺	活動電位, イオンチャネル	膜電位, 興奮発生と膜電流, イオンチャネルの機能と構造
6	講義	渡辺	神経の基本・興奮伝導について	神経線維の構造, 跳躍伝導, 興奮伝導の特徴(興奮伝導の3原則), 神経線維の種類
7	講義	渡辺	骨格筋について	筋の基本的機能, 筋節(サルコメア), 筋フィラメント(アクチン, ミオシンについて) 調節タンパク質(トロポニン, トロポミオシンについて)
8	講義	渡辺	骨格筋について(その2)	筋小胞体とT管(横行小管), Ca ²⁺ による筋収縮の開始(筋の収縮), 等尺性収縮と等張性収縮, 筋収縮の基本の型, 神経支配比, 筋収縮のエネルギー
9	講義	渡辺	興奮の伝達と抑制	興奮の伝達と抑制, シナプスについて, 神経筋伝達, 神経筋接合部の伝達
10	講義	渡辺	自律神経系①	自律神経系との構成と作用, 自律神経系の受容体①
11	講義	渡辺	自律神経系②	自律神経系の受容体②
12	講義	渡辺	運動系①	脊髄について, 脳幹について
13	講義	渡辺	運動系②	小脳について, 大脳基底核について①
14	講義	渡辺	運動系③	大脳基底核について②,
15	講義	渡辺	運動系④	運動系①～③までまとめ

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学 I b										
担当者氏名	渡辺 圭一										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

正常な生体機能がどのような機序で発現し、維持されているかについて理解を深めるために「感覚機能および脳の統合機能が関与する生命機能」について学ぶ。また、基本的なリハビリテーション医学の解釈に必要な基礎的知識を修得する。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』。文光堂、2022年。

《参考図書》

適宜紹介

《目標行動(SBO)》

1. 感覚機能の点からヒトの生命機能を説明できる。
2. 脳の統合機能の点から人の生命機能を説明できる。

《学生の留意点》

授業時間のみでは理解は深まりません。自分に適した自己学習方法を見つけ、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。生理学は解剖学とならんで医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも幅広く深い知識が問われます。そのことを意識して授業に臨んで下さい。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、小テスト20%、課題10%

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における臨床検査技師としての実務経験を活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	渡辺	運動系⑤	大脳皮質について
2	講義	渡辺	感覚生理学総論・体性感覚①	感覚系神経システムの理解
3	講義	渡辺	体性感覚②	感覚の強度、体性感覚と受容器、体性感覚の伝導路・中継核①
4	講義	渡辺	味覚、嗅覚	体性感覚の伝導路・中継核②、大脳皮質の体性感覚野、痛覚、痒み
5	講義	渡辺	聴覚	味覚、(味覚系、満腹、摂食中枢、嚥下)嗅覚
6	講義	渡辺	前庭感覚	音の性質と聴力、伝音機構、内耳の音受容、聴覚の中枢
7	講義	渡辺	視覚①	前庭器官の構造と機能、前庭系の神経回路
8	講義	渡辺	視覚②	眼球の光学系、網膜の光受容、視覚の中枢神経機序
9	講義	渡辺	感覚器	感覚としての視覚、眼球運動、演習
10	講義	渡辺	脳の統合機能①	感覚器(1～8回)のまとめ
11	講義	渡辺	脳の統合機能②	大脳皮質の構造と機能
12	講義	渡辺	脳の統合機能③	大脳辺縁系と視床下部
13	講義	渡辺	脳の統合機能④	脳の情動、行動を調節する伝達物質、脳波、演習(脳波について)、覚醒と睡眠
14	講義	渡辺	脳の統合機能⑤	学習と記憶
15	講義	渡辺	脳の統合機能⑥	脳の統合機能(10～14回)のまとめ

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学Ⅱa										
担当者氏名	武市 敏明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標 (GIO)》

生理学は臨床医学各分野の基幹となる学問領域である。
生理学は人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人体の各種臓器の機能、役割について学び、合目的性として生体恒常性の機序を理解するもので、臨床医学への出発点となるものである。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』。文光堂。2022年。
中島雅美：『理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ 生理学ノート 第3版』。2017年。

《参考図書》

適宜紹介

《目標行動 (SBO)》

1. 体液、血液の役割と機序を説明できる。
2. 心臓、血管の循環系の役割と機序を説明できる。
3. 生体防御機構免疫系の役割と機序を説明できる。
4. 呼吸・酸塩基平衡の役割と機序を説明できる。
5. 体温調節と生体リズムの役割と機序を説明できる。

《学生の留意点》

今話題の最新医学や健康情報について、生理学的知識で精査してみましょう。臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	形式 (教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	武市	体液	生命現象の本態、ホメオスタシス、体液の役割、体液の組成、ミネラルの働き
2	講義	武市	体液	水分の生理機能、体液量の調節、脱水、浮腫、カルシウムの吸収と代謝
3	講義	武市	血液	血液の成分と機能、血液の物理化学的特性、血液の成分、造血と造血因子
4	講義	武市	血液	赤血球の形状と機能、赤血球の新生と破壊、ヘモグロビンの働き、貧血
5	講義	武市	血液	白血球、血小板、血漿の形状と機能、血液凝固作用、血小板血栓、二次血液凝固
6	講義	武市	血液	ABO式血液型、Rh式血液型、赤血球の凝集反応、凝集原（抗原）凝集素（抗体）
7	講義	武市	免疫	非特異的防御機構、特異的防御機構、免疫機構、リンパの働き、アレルギー
8	講義	武市	循環	体循環、肺循環、心臓の構造と機能、心筋の特性、刺激伝導系
9	講義	武市	心臓	心周期、心音、心拍数の調節、心臓の神経支配、心筋の電気現象と心電図
10	講義	武市	血管	動脈・静脈・毛細血管の特徴、血管の自律神経、冠循環、脳循環、腹腔内循環
11	講義	武市	血管	血圧の調節要因、局所性調節、ホルモン調節、リンパ管の構造と機能
12	講義	武市	呼吸	換気の仕組み、気道、肺の構造と機能、呼吸筋と呼吸運動、肺胞換気量
13	講義	武市	呼吸	肺におけるガス交換、酸素・二酸化炭素の運搬、呼吸による体液の酸塩基平衡
14	講義	武市	呼吸	呼吸に影響を与える因子、呼吸調節作用、呼吸中枢、特殊環境の呼吸への影響
15	講義	武市	体温	体温の調節、体熱の産生、基礎代謝量、体熱の放散、体温調節中枢、日内変動

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	生理学Ⅱb										
担当者氏名	武市 敏明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

生理学は臨床医学各分野の基幹となる学問領域である。
生理学は人体の正常な恒常性の機序及び機能的意義について理解を深めるために、人体の各種臓器の機能、役割について学び、合目的性として生体恒常性の機序を理解するもので、臨床医学への出発点となるものである。

《テキスト》

大地 陸男：『生理学テキスト 第9版』。文光堂。2022年。
中島雅美：『理学療法士・作業療法士PT・OT基礎から学ぶ 生理学ノート 第3版』。2017年。

《参考図書》

適宜紹介

《目標行動(SBO)》

1. 消化・吸収の役割とその機序を説明できる。
2. 栄養とエネルギーの役割とその機序を説明できる。
3. 泌尿器系の役割とその機序を説明できる。
4. 内分泌の役割とその機序を説明できる。
5. 生殖系系の役割とその機序を説明できる。
6. 成長と老化の生理作用とその機序を説明できる。

《学生の留意点》

今話題の最新医学や健康情報について、生理学的知識で精査してみましょう。臨床医学と生理学をより身近なものとして理解を深めることができます。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、小テスト20%、レポート10%

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	武市	復習	前期講義内容の再確認
2	講義	武市	消化	口腔内消化、咀嚼・嚥下、唾液による消化、胃内消化、消化液の分泌調節作用
3	講義	武市	消化	小腸の構造と機能、小腸壁の構造、小腸の運動、小腸における消化
4	講義	武市	吸収	栄養素の分解と吸収、肝臓の構造と機能、膵臓の構造と機能、胆嚢・胆道の機能
5	講義	武市	排便	大腸の構造と機能、大腸の運動と分泌、胃大腸反射、排便中枢、肛門括約筋の作用
6	講義	武市	代謝	物質代謝、炭水化物代謝、脂質代謝、タンパク代謝、核酸代謝、ビタミン代謝
7	講義	武市	腎臓	腎臓の構造と機能、ネフロン構造、糸球体濾過、尿細管の働き、再吸収と分泌
8	講義	武市	腎臓	腎機能の測定、腎血流量、腎血漿流量と糸球体濾過量、腎クリアランス
9	講義	武市	排尿	尿管・膀胱・尿道の構造と機能、膀胱と尿道の神経支配、蓄尿、排尿反射
10	講義	武市	内分泌	ホルモンの化学的性質、ホルモンの受容器、ホルモンの機序、ホルモンの分泌調整
11	講義	武市	内分泌	視床下部ホルモン、下垂体前葉ホルモン、下垂体中葉ホルモン、下垂体後葉ホルモン
12	講義	武市	内分泌	甲状腺ホルモン、副甲状腺ホルモン、膵臓ホルモン、副腎皮質・髄質ホルモン
13	講義	武市	生殖	排卵、月経、妊娠のホルモン、精巣・精巣上体の構造と機能、勃起、射精
14	講義	武市	老化	細胞の寿命と再生、生理的老化の特徴、身体機能の加齢変化、脳死、QOL、死の三徴候
15	講義	武市	復習	後期講義内容の再確認

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	人間発達学										
担当者氏名	松本 実祐										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

対象者の発達過程を考慮しながら対応できるようになるために、人の生得的な能力を知り、また代表的な領域ごとの各発達段階における特徴を学ぶ。

《テキスト》

授業の中で資料を配布します。

《参考図書》

授業の中で資料を配布します。

《目標行動(SBO)》

1. 人の発達段階の特徴について各領域に分け説明できる。
2. 発達障害について説明できる。
3. 各ライフステージにおける発達の特徴について説明できる。

《学生の留意点》

積極的に授業に参加してください。

《成績評価の方法》

期末試験 100%

《実務経験のある教員による科目》

臨床心理士としての実務経験を活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	松本	オリエンテーション 生涯発達	オリエンテーション, 生涯発達
2	講義	松本	発達課題	発達課題
3	講義	松本	運動の発達	運動の発達
4	講義	松本	言語・感情	言語・感情
5	講義	松本	知覚・記憶	知覚・記憶
6	講義	松本	学習	学習
7	講義	松本	認知 ピアジェの認知発達理論	認知 ピアジェの認知発達理論
8	講義	松本	発達障害①	発達障害①
9	講義	松本	発達障害②	発達障害②
10	講義	松本	発達を見立てる	発達を見立てる
11	講義	松本	段階理論	フロイトの心理学的発達段階・マズローの欲求階層説・エリクソンの心理社会的発達段階理論
12	講義	松本	愛着	愛着
13	講義	松本	社会で生きるということ ①	乳幼児期～児童・青年期
14	講義	松本	社会で生きるということ ②	壮年・中年期
15	講義	松本	社会で生きるということ ③	老年期

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床心理学										
担当者氏名	杉村 夕										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

対象者の心理的特徴や心的作用を考慮しながら実際場面で対応できるようになるために、臨床心理学の基本的理論、心理検査法、心理療法などを学ぶ。

《テキスト》

特になし

《参考図書》

授業の中でその都度紹介します。

《目標行動(SBO)》

1. 臨床心理学の定義と対象、基本的な考え方を説明できる。
2. 代表的な心理検査の種類を列挙し、その特徴と内容について説明できる。
3. 代表的な心理療法について列挙し、その特徴と内容について説明できる。

《学生の留意点》

実際にさまざまな心理検査を実施したり、さまざまな心理療法の基礎を体験してもらったりします。積極的な授業参加を期待します。

《成績評価の方法》

期末試験100 %

《実務経験のある教員による科目》

当科目は臨床心理士が担当し、その実務経験を活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	杉村	臨床心理学の定義と対象、基礎理論	臨床心理学の定義と対象、基礎理論(学習、記憶、行動)
2	講義	杉村	心理アセスメント	面接法、行動観察法、心理検査法
3	講義	杉村	心理検査法①	性格検査(質問紙法)
4	講義	杉村	心理検査法②	性格検査(投影法)
5	講義	杉村	心理検査法③	性格検査(作業検査法)
6	講義	杉村	心理検査法④	知能検査(ウェクスラー式、ビネー式)
7	講義	杉村	心理療法①	概論
8	講義	杉村	心理療法②	精神分析療法、防衛機制と転移
9	講義	杉村	心理療法③	クライアント中心療法
10	講義	杉村	心理療法④	行動療法、認知行動療法
11	講義	杉村	心理療法⑤	自律訓練法
12	講義	杉村	心理療法⑥	その他の心理療法
13	講義	杉村	ライフサイクルと心理的問題	ライフサイクルと心理的問題、障害者・高齢者の心理、障害の受容、その他
14	講義	杉村	ストレスマネジメント	ストレスマネジメント
15	講義	杉村	まとめ	まとめ

《専門基礎分野 保健医療福祉とリハビリテーションの理念》

科目名	リハビリテーション概論										
担当者氏名	藤川 明代 浅沼 辰志、山田 千鶴子、柴田 真実										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

リハビリテーションを考究し続ける理学療法士になるために、リハビリテーションを概観し、特にパラスポーツを理解すること。

《テキスト》

指定なし

《参考図書》

砂原茂一、「リハビリテーション」、岩波新書、1980。
上田敏、「リハビリテーション 新しい生き方を創る医学」、ブルーバックス、1996。長谷川幹、「リハビリ 生きる力を引き出す」、岩波新書、2019。

《目標行動(SBO)》

1. リハビリテーション歴史と理念を説明できる。
2. 医学的リハビリテーションの概要を理解できる。
3. 障害とは何か、理解できる。
4. リハビリテーションの多様性を説明できる。
5. パラスポーツの概要を理解できる。

《学生の留意点》

理学療法士の業務の場であるリハビリテーションの理念、歴史、実際と未来について学び、療法士の主な対象者である患者、障がい者を全人的に理解することを学んでください。

《成績評価の方法》

各回の課題で評価する（100％）。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における医師・理学療法士・作業療法士としての実務経験を、専門分野の観点から授業内容に活かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	山田	オリエンテーション	導入、リハビリテーションの定義とその諸相
2	講義	外来講師	リハビリテーションの歴史と理念	リハビリテーションの歴史、理念、チームアプローチ
3	講義	外来講師	リハビリテーション医療	評価会議とゴール設定、リハビリテーションプログラム、クリニカルパス
4	講義	外来講師	医学的リハビリテーション	病期別リハビリテーション、地域リハビリテーション
5	講義	山田	リハビリテーションの理念と社会医学技術学院	社会医学技術学院創設者の目指したリハビリテーションとは
6	講義	浅沼	障害とは	定義、歴史、国際生活機能分類、自立生活、ノーマライゼーション
7	実技	藤川	障害体験①	肢体不自由
8	実技	藤川	障害体験②	視覚障がい、聴覚・音声言語障がい
9	演習	藤川	パラスポーツ①	障がい者スポーツの意義と理念
10	演習	藤川	パラスポーツ②	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質
11	実技	藤川	パラスポーツ③	全国障がい者スポーツ大会の概要
12	実技	藤川	パラスポーツ④	実技
13	講義	柴田	患者・障害者の心理・社会的側面①	患者・障がい者の心理、障害受容
14	講義	柴田	患者・障害者の心理・社会的側面②	心理教育、自立支援・就労支援・両立支援
15	講義	浅沼	専門職に求められるもの	チームにおける理学療法士・作業療法士の役割と責任

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法概論										
担当者氏名	小島 肇										
授業方法	講義	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法ならびに理学療法士とは何かを理解するために、その歴史、機能、社会の中の役割、構造、学問体系を概観する。

《テキスト》

なし

《参考図書》

高橋哲也他編『理学療法概論』第7版補訂。医歯薬出版。2024。

《目標行動(SBO)》

1. 理学療法の歴史を説明できる。
2. 保健、医療、福祉の中の理学療法の役割を説明できる。
3. 社会と法規、関連制度について説明できる。
4. 理学療法士に求められる倫理を説明できる。
5. 理学療法のプロセスを説明できる。
6. 理学療法の学問体系、教育について説明できる。
7. 目指す理学療法士像を記述できる。

《学生の留意点》

「理学療法」とは、「理学療法士」とは何かを理解し、あなたが目指す理学療法士像を可視化して、これからの学びの糧になることを期待しています。
本コースは理学療法士国家試験出題基準「基礎理学療法学」に準拠した構成です。

《成績評価の方法》

ワークシート75%、筆記試験25%。
ワークシートは毎回の授業で記述し各5%とし全15回で75%になります。
筆記試験は、理学療法に関する「知識」を問う問題（10%）とあなたが「目指す理学療法士像」について記述する問い（15%）です。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	小島	オリエンテーション	シラバスの説明、理学療法とは、理学療法士とは
2	講義	小島	理学療法の歴史①	治療の変遷
3	講義	小島	理学療法の歴史②	組織としての理学療法の発展
4	講義	小島	医療機能における理学療法	急性期/回復期/生活期/終末期
5	講義	小島	保健・福祉の中の理学療法	ヘルスプロモーション、重症化予防、障害児/者へのアプローチ
6	講義	小島	社会の理解	人間関係論、多様性社会、ノーマライゼーション、インクルージョン、地域社会
7	講義	小島	理学療法士と職業倫理	職業倫理、プロフェッショナリズム、医療倫理
8	講義	小島	法規と関連制度	理学療法士及び作業療法士法、医療法、障害者総合支援法
9	講義	小島	障害の捉え方	ICD、ICF、NCMRR分類、Nagiモデル
10	講義	小島	理学療法のプロセス	事前情報収集、理学療法検査測定、評価、治療、再評価
11	講義	小島	根拠に基づいた理学療法	EBM、エビデンスとは、診療ガイドライン、NBM
12	講義	小島	理学療法の学問的体系	研究倫理、研究方法
13	講義	小島	理学療法学教育	卒前教育、卒後教育、展望
14	講義	小島	職域拡大	精神分野、産業分野、災害医療分野、女性保健分野、動物分野
15	講義	小島	まとめ	振り返り、目指す理学療法士像とは

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅰ										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床見学実習の目標を達成するために、理学療法士としての自覚を養い、その職務を理解するとともに、臨床実習Ⅰに向けた準備と臨床現場での基礎的な医療スキルを修得する。更に臨床見学実習を振り返り、各々の課題を見つけることができ、臨床実習Ⅰ(地域リハビリテーション見学と検査測定実習)までに学習すべき内容と学習プランを挙げられる。

《テキスト》

特に指定しない

《参考図書》

特に指定しない

《目標行動(SBO)》

1. 臨床見学実習の目的を説明できる。
2. 理学療法士の役割と責任を自分の言葉で説明できる。
3. 患者さんとの基本的なコミュニケーション技術を実践できる。
4. 手洗いや感染予防対策、介助などの基本的な技術を正しく実践できる。
5. 臨床見学実習後のグループディスカッションに積極的に参加し、学んだことを具体的にまとめることができる。
6. 臨床実習Ⅱに向けた自己の課題や学習目標を設定できる。
7. 時間厳守や身だしなみ、倫理的な判断など、専門職としての基本的な姿勢

《成績評価の方法》

提出課題 100%

《学生の留意点》

医療人としてのマナーや、外部施設とのかかわりを持つうえで留意点を学んでいきます。社会医学技術学院の学生としての自覚を持ち、適切な立ち振る舞いが実践できるような意識で臨んでください。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	臨床実習の心構え ～社会人として～
2	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	臨床実習の心構え ～学生として～
3	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	感染対策
4	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	医療安全/個人情報保護
5	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	車いす操作
6	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	ストレス対処
7	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 ～解剖学～
8	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 ～生理学～
9	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 ～運動学～
10	講義・演習	長屋	専門職としての適性およびふさわしい態度	基礎知識の確認 ～まとめ～
11	講義	長屋	実習オリエンテーション	臨床見学実習の目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
12	講義・演習	長屋	臨床実習ポートフォリオ	「デイリーノート」、「臨床経験気づき/学びリスト」の書き方
13	講義・演習	長屋	臨床実習ポートフォリオ	「臨床実習チェックリスト」、「実習のまとめ」の書き方
14	演習	長屋	実習後セミナー	実習の振り返り
15	演習	長屋	実習後セミナー	臨床実習報告会/臨床実習Ⅰに向けて

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	フィジカルアセスメント										
担当者氏名	藤川 明代										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

対象者に応じたフィジカルアセスメント（視診・触診・聴診・打診）や各検査測定（血圧・脈拍測定）が自ら実践できるようになるために、解剖生理での裏付けや結果の解釈を系統的に学習する。

《テキスト》

運動療法のための機能解剖学的触診技術（上肢・下肢）. 2020.

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 解剖・生理学の知識を実技結果と結びつけることができる。
2. 対象者に対して血圧測定ができる。
3. 対象者に対して触診ができる。
4. 対象者に対して肢長周径の測定ができる。
5. 基本的なバイタルチェックを実施できる。

《学生の留意点》

講義前に実技のできる服装に着替え、必要物品を準備すること。積極的に参加し技術習得に努めること（実技に参加しない、私語・スマートフォン操作等、講義・技術習得の妨げとなる行為があった場合は欠席扱いとし、退室を命ずることがある）。知識面・実技の復習を必ず行うこと。

《成績評価の方法》

実技試験 70%, 筆記試験 30%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	藤川	オリエンテーション・バイタルサイン①	オリエンテーション、バイタルサインとは（視診・触診・聴診・血圧・脈拍）
2	実技	藤川	バイタルサイン②	実技（脈拍、血圧測定）
3	実技	藤川	触診（骨）①	実技（ランドマークの触診）
4	実技	藤川	触診（骨）②	実技（ランドマークの触診）
5	実技	藤川	触診（骨）③	実技（ランドマークの触診）
6	実技	藤川	身体測定①	実技（四肢長測定）
7	実技	藤川	触診（筋）①	上肢の筋
8	実技	藤川	触診（筋）②	上肢の筋
9	実技	藤川	触診（筋）③	上肢の筋
10	実技	藤川	触診（筋）④	下肢の筋
11	実技	藤川	触診（筋）⑤	下肢の筋
12	実技	藤川	触診（筋）⑥	下肢の筋
13	実技	藤川	触診（筋）⑦	体幹の筋
14	実技	藤川	触診（筋）⑧	頸部・頭部の筋
15	実技	藤川	身体測定②	実技（周径測定）

《専門分野 地域理学療法学》

科目名	生活環境支援理学療法学										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	1	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他(多)職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

自立支援の為に、車椅子・福祉機器・住宅改造・周辺環境を含めた内容を理解し、すべての人が生活する上で必要なツール、援助を理学療法の観点から学ぶ。

《テキスト》

標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学第5版 医学書院

《参考図書》

国際福祉機器展H.C.R. 2021 福祉機器 選び方・使い方 副読本
基本動作編・住宅改修編・自立支援編 (データ資料)

《目標行動(SBO)》

1. 車椅子の使用目的・機能を説明でき、操作方法を指導できる。
2. 福祉機器の目的・機能を説明でき操作方法を指導でき、調整等を行うことができる。
3. 車椅子のシーティングシステムを対象者に適用させる経験をする。
4. 住環境および自宅周辺環境について説明することができる。

《学生の留意点》

- ・主体的に授業に取りむこと。
- ・校外授業においては社会人として適切な言動を身に着けてほしい。
- ・実技を行う際には、実技にふさわしい身だしなみとし、学院の感染対策に則って行う。

《成績評価の方法》

授業内課題(校外施設見学、体験についての課題も含む) (100%)

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	沼尾	オリエンテーション 車椅子①	オリエンテーション 障害とは何か 寝返り・起き上がり・移乗 ①車椅子の名称②処方
2	実技	沼尾	車椅子②	③メンテナンス④操作方法
3	実技	沼尾	歩行補助具①	①杖の役割②処方③メンテナンス
4	実技	沼尾	歩行補助具②	④使い方(1)
5	実技	沼尾	歩行補助具③ 施設見学1(準備)	④使い方(2) 国立リハビリテーションセンター見学オリエンテーション
6	演習	沼尾	施設見学1(参加)*	国立リハビリテーションセンター見学 《障害者の自立支援について》 *5/13(火)
7	演習	沼尾	家屋評価について	評価する意義、記載方法
8	演習	沼尾	施設見学1振り返り	グループワーク、発表
9	演習	沼尾	バリア	通学途中のバリア
10	演習	沼尾	家屋評価検討	バリアの解決実践(グループワーク①)
11	演習	沼尾	施設見学2(準備)	福祉・介護用具取扱業者アビリティーズ見学に関するオリエンテーション
12	演習	沼尾	施設見学2(参加)*	アビリティーズ見学 《在宅での自立支援について》 *6/24(木)
13	演習	沼尾	施設見学2振り返り	バリアの解決実践(グループワーク②)
14	演習	沼尾	福祉用具の適用	発表
15	演習	沼尾	まとめ	kaokuhy

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床見学実習										
担当者氏名	山形 哲行										
授業方法	実習	単位数	1	回数	-	時間数	45	開講年次	1	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法士の仕事を理解し、そのキャリア形成の第1歩とするために、早期に臨床見学を体験する。また、臨床現場の見学を通じて、理学療法士の役割やリハビリテーションのあり方を学び、また理学療法士および医療専門職として適切な態度や行動を養う。これらを通して、理学療法士としての自覚と学修意欲の向上を図る。

《テキスト》

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 実習施設(病院)の規模や役割を説明できる。2. 実習施設(病院)のリハビリテーション全体における位置づけ、理学療法・作業療法部門の組織、役割を説明できる。3. 他部門(職種)の役割と連携について説明できる。4. 挨拶・報告・連絡・相談・相応しいコミュニケーションを実践できる。5. 感染予防(標準予防策)、医療安全、個人情報保護を遵守できる。6. 望ましい理学療法士像を述べるができる。

《学生の留意点》

何を見学するのかを明確にし、理学療法士と対象者の関わり方がどのように行われていたのか、対象者の困りごとは何なのかを見学していただくこと。また、その上であいさつや質問などを自ら積極的にできるように心がけること。

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と臨床実習ポートフォリオ・実習後セミナーの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「合」・「否」の2段階で行います。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における理学療法士が、その実務経験を活かした科目となっている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1			施設の特徴、理学療法士の役割を知る。	5日間の臨床見学実習
2			発表・共有	実習後セミナー
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学 I										
担当者氏名	小宮山 一樹										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法治療技術論への学習の基礎とするために、上肢・体幹の機能解剖及び、呼吸、循環、代謝の基本的知識を習得する。

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学 第6版補訂』。医歯薬出版。2012。
平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版。文光堂。2012。

《参考図書》

嶋田智明他訳：『筋骨格系のキネシオロジー』。医歯薬出版。2012。
塩田悦二訳：『カバンジー機能解剖学Ⅱ』。医歯薬出版。2010。
勝田茂編著：『入門運動生理学』。杏林書院。2015。

《目標行動(SBO)》

1. 関節構造や筋活動の特性を踏まえて身体運動が説明ができる。
2. 上肢・体幹の構造と運動が説明できる。
3. 体幹、肩関節、肘関節、手関節の運動学的特徴を説明できる。
4. 運動学としての呼吸・代謝の仕組みを説明できる。

《学生の留意点》

解剖、生理学に基づいた専門的内容が多くなる。解剖学各回の復習を欠かさず授業に臨むこと。教材室にある骨標本・筋模型を利用して、具体的に理解することにつとめること。毎回教材備品を授業開始までに準備すること必要に応じて自らの身体を実際に動かして積極的に学習すること。

《成績評価の方法》

期末試験 筆記100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を機能解剖の知識獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	小宮山	オリエンテーション	運動学概要、運動学を学ぶ意味
2	講義	小宮山	骨学総論	関節の副運動、関節の形状による分類など
3	講義	小宮山	骨学総論	運動面と運動軸、運動方向表現など
4	講義	小宮山	筋学総論	筋収縮の様式、筋の滑走説など
5	講義	小宮山	筋学総論	張力-長さ曲線、テノデーシスアクションなど
6	講義	小宮山	肩関節・肩甲帯の機能解剖	胸鎖関節、肩鎖関節、肩甲胸郭関節、第二肩関節について
7	講義	小宮山	肩関節・肩甲帯の機能解剖	肩関節・肩甲帯の筋と作用について
8	講義	小宮山	肘関節・前腕の機能解剖	腕尺関節、腕橈関節、上下橈尺関節について
9	講義	小宮山	肘関節・前腕の機能解剖	肘関節・前腕の筋と作用について
10	講義	小宮山	手関節・指の機能解剖	外来筋群と内在筋群、末梢神経麻痺、指背腱膜など
11	講義	小宮山	脊柱の機能解剖	脊柱の構造と各部位の運動学的特徴について
12	講義	小宮山	頸部の機能解剖	軸椎関節および環椎後頭関節の運動について、頸部の運動と筋活動について
13	講義	小宮山	胸腰部の機能解剖	姿勢と椎間板内圧について、胸椎、腰椎の関節運動
14	講義	小宮山	呼吸の運動学	胸式呼吸・腹式呼吸の運動学など
15	講義	小宮山	運動と代謝	運動とエネルギー代謝について

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学Ⅱ										
担当者氏名	坂田 晋一										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法評価や治療技術論への学習の基礎とするために、理学療法士に最低限必要な「下部体幹から足部までの運動学」と「運動の中樞神経機構」を学ぶ。

《テキスト》

中村隆一他：『基礎運動学 第6版補訂』，医歯薬出版，2012。
平田幸男訳：『解剖学アトラス』第10版，文光堂，2012。

《参考図書》

嶋田智明他訳：『筋骨格系のキネシオロジー』，医歯薬出版，2018年。
塩田悦二訳：『カバンジー機能解剖学Ⅱ 下肢』，医歯薬出版，2019年。

《目標行動(SBO)》

1. 骨盤の構造と運動を説明することができる。
2. 股・膝・足関節の構造と運動を説明することができる。
3. 関節の安定化機構を説明することができる。
4. 運動の計画、プログラミングについて説明できる。
5. 代表的な運動制御理論について説明できる。

《学生の留意点》

基幹科目の一つです。予習・復習を十分にしながら確実に理解を進めてください。

《成績評価の方法》

期末試験（100%）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かし「理学療法評価や治療技術論への学習の基礎となるような運動学事項の理解」を目指す。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	坂田	骨盤の構造と運動表現	コースオリエンテーション／骨盤の解剖学的理解と運動方向表現，歩行の復習
2	講義・実技	坂田	骨盤と姿勢（上行性運動連鎖）	骨盤傾斜角，腰椎骨盤リズムについて
3	講義・実技	坂田	骨盤と姿勢（下行性運動連鎖）	トーマステストについて
4	講義・実技	坂田	股関節の構造と機能_1	股関節の解剖学的理解と重要な角度
5	講義・実技	坂田	股関節の構造と機能_2	股関節の構造と機能／靭帯機構と筋作用
6	講義・実技	坂田	股関節の構造と機能_3	運動時の安定性について，トレンデレンベルグとデュシャンヌ跛行について
7	講義・実技	坂田	膝関節の構造と機能_1	膝関節の解剖学的理解と運動（滑りと転がり，終末強制回旋）
8	講義・実技	坂田	膝関節の構造と機能_2	膝関節の静的安定化機構
9	講義・実技	坂田	膝関節の構造と機能_3	膝関節の動的安定化機構
10	講義・実技	坂田	足関節・足部の構造と機能_1	足関節足部の解剖学的理解と運動表現
11	講義・実技	坂田	足関節・足部の構造と機能_2	足関節足部に特有な関節軸と複合された運動の理解
12	講義・実技	坂田	足関節・足部の構造と機能_3	足関節足部の筋解剖学／足アーチの機能
13	講義・実技	坂田	運動の中樞神経機構_1	運動のプランニングからプログラミングそして実行まで
14	講義・実技	坂田	運動の中樞神経機構_2	運動のフィードフォワードとフィードバック制御機構
15	講義・実技	坂田	運動の中樞神経機構_3	歩行の中樞／中樞パターン生成機構（CPG）

《専門基礎分野 人体の構造と機能および心身の発達》

科目名	運動学演習										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

バイオメカニクス・運動学Ⅰ・Ⅱで習った知識を実際の運動に結び付けるために、機器を用いた測定を通じて理解する。

《テキスト》

《参考図書》

中村隆一他：『基礎運動学第7版』。医歯薬出版株式会社、2025年。
臨床歩行分析研究会：『姿勢・動作・歩行分析 第2版(PT・OTビジュアルテキスト)』，羊土社，2023年

《目標行動(SBO)》

- ・運動の際の重心移動・床反力・関節運動・筋収縮を説明できる。
- ・筋力について、その収縮様式ごとの特性を説明できる。
- ・呼吸代謝のメカニズムを説明できる。

《学生の留意点》

各単元で理解した内容を文章で説明する課題を課します。しっかりとメモを取りながら授業に参加してください。また、歩行の測定後にSBOに沿った考察を書いてもらいます。

《成績評価の方法》

課題50%，筆記試験50%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、沼尾拓（理学療法士）が担当し、その実務経験を生かした内容である。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	沼尾	コースオリエンテーション	重力のある世界で運動するとは 歩行用語
2	講義	沼尾	歩行用語	基本歩行用語・相分け
3	講義	沼尾	正常歩行時の重心移動	
4	講義	沼尾	正常歩行時の床反力制御	
5	講義	沼尾	正常歩行時の関節運動	
6	講義	沼尾	正常歩行時の筋活動	
7	演習	沼尾・他	演習①	単元1：筋張力と筋力 単元2：正常歩行の筋活動 単元3：運動と呼吸代謝 単元4：立ち上がり時の身体重心軌跡と床反力
8	演習	沼尾・他	演習①	クラスを4班に分け上記単元1-4を演習①-④で順に実験していきます
9	演習	沼尾・他	演習②	同上
10	演習	沼尾・他	演習②	同上
11	演習	沼尾・他	演習③	同上
12	演習	沼尾・他	演習③	同上
13	演習	沼尾・他	演習④	同上
14	演習	沼尾・他	演習④	同上
15	講義	沼尾	まとめ	

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	病理学概論										
担当者氏名	堀田 綾子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

様々な疾患の特徴や原因について科学的な理解を深めるために、最低限必要な基本的医学用語と医学知識を身につけ、主な疾患の病態を組織像とともに学ぶ。

《テキスト》

指定なし。毎回授業内容に沿ったプリントを配布する。

《参考図書》

指定なし。

《目標行動(SBO)》

1. 外因の生物的要因の説明、代表疾患、退行/進行性病変、各諸型、免疫に関与する因子/細胞や傷害疾患、代表的な感染症の種類/特徴を説明、列挙できる。
2. 代表的な腫瘍名、発生母組織との関係、悪性腫瘍の進展形式を説明できる。
3. 呼吸、消化、生殖器に発生する代表疾患、特徴を説明できる。
4. 脳出血・脳梗塞・くも膜下出血の原因、発生機序を説明できる

《学生の留意点》

病理学とは何か、病理学を学ぶ意義は何かについて、それぞれが考えてほしい。講義内容の理解を深めるため、復習は確実に行ってください。

《成績評価の方法》

筆記試験100%（期末試験）

《実務経験のある教員による科目》

実務経験を有する医師が担当する。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	堀田	病理学総論 (1)	病理学とは何か 最近のトピックス
2	講義	堀田	病理学総論 (2)	細胞障害と適応、変性、代謝障害
3	講義	堀田	病理学総論 (3)	炎症
4	講義	堀田	病理学総論 (4)	免疫、膠原病
5	講義	堀田	病理学総論 (5)	感染症
6	講義	堀田	病理学総論 (6)	腫瘍
7	講義	堀田	病理学各論 (1)	呼吸器系の疾患1
8	講義	堀田	病理学各論 (1)	呼吸器系の疾患2
9	講義	堀田	病理学各論 (2)	消化器系の疾患1
10	講義	堀田	病理学各論 (2)	消化器系の疾患2
11	講義	堀田	病理学各論 (3)	生殖器系の疾患1
12	講義	堀田	病理学各論 (3)	生殖器系の疾患2
13	講義	堀田	病理学各論 (4)	脳・神経系の疾患1
14	講義	堀田	病理学各論 (4)	脳・神経系の疾患2
15	講義	堀田	まとめ	

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床神経学										
担当者氏名	栗崎 博司 井上里美 板東充秋										
授業方法	講義・演習	単位数	3	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

作業療法へ展開するために、神経障害を生じる主な疾患の疫学、病態、予後、症状、評価・検査、一般の治療について学ぶ。

《テキスト》

江藤文夫 編『神経内科学テキスト』、南江堂、2017。

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 神経内科疾患の成因と分類について説明できる。
2. 神経内科領域の主な疾患についての診断について説明できる。
3. 神経内科領域の主な疾患についての評価、治療について説明できる。
4. 神経内科と関連する保健と福祉に関連する法律について説明できる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験）100%

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における神経内科学医師としての実務の経験を生かした科目としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	栗崎/井上	総論	神経機能解剖／神経生理／診断総論（脳血管障害を含む）
2	講義	栗崎/井上	"	神経機能解剖／神経生理／診断総論（脳血管障害を含む）
3	講義	栗崎/井上	"	神経薬理／治療総論／神経の成長・加齢
4	講義	栗崎/井上	"	神経薬理／治療総論／神経の成長・加齢
5	講義	板東	各論	画像の読み方の基礎
6	講義	板東	"	病因と画像 脳血管障害他
7	講義	板東	"	神経難病 パーキンソン病 脊髄小脳変性症 多系統萎縮症 進行性核上麻痺 大脳皮質基底核変性症
8	講義	板東	"	認知症 アルツハイマー型認知症 脳血管性認知症 レビー小体型認知症他
9	講義	板東	"	高次脳機能障害 スクリーニング 失語症
10	講義	板東	"	高次脳機能障害 視空間障害 記憶障害 前頭葉機能障害
11	講義	栗崎/井上	"	意識障害／脳神経／運動の経路
12	講義	栗崎/井上	"	意識障害／脳神経／運動の経路
13	講義	栗崎/井上	"	感覚の経路／運動失調／嚥下機能
14	講義	栗崎/井上	"	感覚の経路／運動失調／嚥下機能
15	講義	栗崎/井上	症候学	錐体外路症状／自律神経／異常歩行
16	講義	栗崎/井上	症候学	錐体外路症状／自律神経／異常歩行
17	講義	栗崎/井上	"	血管障害 神経画像／正常圧水頭症／頭部外傷
18	講義	栗崎/井上	"	血管障害 神経画像／正常圧水頭症／頭部外傷
19	講義	栗崎/井上	"	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の基礎と 在宅におけるALS患者への支援
20	講義	栗崎/井上	"	筋萎縮性側索硬化症（ALS）の基礎と 在宅におけるALS患者への支援
21	講義	栗崎/井上	"	脳腫瘍／感染
22	講義	栗崎/井上	"	脳腫瘍／感染
23	講義	栗崎/井上	"	筋疾患／重症筋無力症
24	講義	栗崎/井上	"	筋疾患／重症筋無力症
25	講義	栗崎/井上	"	内科疾患に伴う神経症候／中毒／代謝疾患
26	講義	栗崎/井上	"	内科疾患に伴う神経症候／中毒／代謝疾患
27	講義	栗崎/井上	"	脱髄疾患／末梢神経疾患／自律神経障害
28	講義	栗崎/井上	"	脱髄疾患／末梢神経疾患／自律神経障害
29	講義	栗崎/井上	"	小児先天性疾患
30	講義	栗崎/井上	"	小児先天性疾患

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	整形外科学Ⅰ										
担当者氏名	田村 太										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法、作業療法に活かすために、整形外科学的主要な疾患概念、病態、神経学的検査、診断、治療そして予後等における一般的知識について修得する。

《テキスト》

医療情報科学研究所編：『病気がみえる Vol.11 運動器・整形外科』。メディックメディア、2017。

《参考図書》

標準整形外科第17版。医学書院。

《目標行動(SBO)》

1. 骨、軟部組織の修復と再生について理解できる。
2. 整形外科診断、特に画像診断について理解できる。
3. 主要な疾患・外傷の治療、特に手術療法について理解できる。

《学生の留意点》

身体構造（解剖）の問題を取り扱う臨床医学です。どのような領域においても対象者が有していることが多く、その症状・病態生理・評価（検査法）・整形外科治療の理解は、安全かつ効果的な理学療法、作業療法につながります。

《成績評価の方法》

期末試験100%

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、臨床医が担当し、その実務経験を活かした授業を展開する。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	田村	総論Ⅰ	整形外科総論
2	講義	田村	総論Ⅱ	外傷総論
3	講義	田村	外傷	外傷各論
4	講義	田村	変形性関節症	変形性関節症総論
5	講義	田村	下肢の疾患Ⅰ	下肢(股、膝、足関節)各論①
6	講義	田村	下肢の疾患Ⅱ	下肢(股、膝、足関節)各論②
7	講義	田村	上肢の疾患	上肢(肩、肘、手関節)各論
8	講義	田村	体幹の疾患Ⅰ	体幹各論(脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、骨粗鬆症等)
9	講義	田村	体幹の疾患Ⅱ	体幹各論(脊柱、脊髄腫瘍、末梢神経障害等)①
10	講義	田村	体幹の疾患Ⅲ	体幹各論(脊柱、脊髄腫瘍、末梢神経障害等)②
11	講義	田村	腫瘍	骨軟部腫瘍、脊髄腫瘍
12	講義	田村	リウマチ性疾患	関節リウマチ、脊椎炎、感染
13	講義	田村	骨系統疾患、代謝性疾患	骨系統疾患、代謝性疾患
14	講義	田村	復習	復習問題
15	講義	田村	国家試験問題	過去問

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	整形外科学Ⅱ										
担当者氏名	中村 壮大										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

運動器系理学療法学の治療手技を習得するために、その基本となる関節可動域制限に対する運動療法（関節可動域運動、モビライゼーション、筋力増強運動）を習得すること。

《テキスト》

特に指定なし。

《参考図書》

市橋則明：運動療法学 障害別アプローチの理論と実際，文光堂，2014。
奈良勲：関節可動域，運動と医学の出版社，2023。

《目標行動(SBO)》

- 1) 整形外科リハビリテーションの概要を理解できる。
- 2) 脊柱・四肢関節への関節可動域運動を実施できる。
- 3) 主要関節へのモビライゼーションを実施できる。
- 4) 主要関節への筋力増強運動を実施できる。

《学生の留意点》

・整形外科学の主要な疾患を理学療法の観点から学びます。
・理学療法の中核を占める運動療法のうち，基本的な手技を整形外科の主要な疾患を通して習得する科目です。

《成績評価の方法》

期末試験（実技100%）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し，その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	中村	オリエンテーション	目的・目標・成績評価の共有
2	実技	中村	関節可動域	下肢関節への関節可動域運動
3	実技	中村	関節可動域	上肢関節への関節可動域運動
4	実技	中村	関節可動域	脊椎への関節可動域運動
5	実技	中村	モビライゼーション	下肢関節へのモビライゼーション
6	実技	中村	モビライゼーション	上肢関節へのモビライゼーション
7	実技	中村	モビライゼーション	脊椎へのモビライゼーション
8	実技	中村	筋力増強運動	下肢筋群への筋力増強運動
9	実技	中村	筋力増強運動	上肢筋群への筋力増強運動
10	実技	中村	筋力増強運動	体幹筋群への筋力増強運動
11	実技	中村	応用的アプローチ	運動療法と最新物理療法の併用アプローチ
12	実技	中村	応用的アプローチ	運動療法と最新物理療法の併用アプローチ
13	実技	中村	関節可動域・モビライゼーション 筋力増強運動	復習
14	講義	葛原	整形外科リハビリテーション	講義 整形外科リハビリテーション総論
15	講義	葛原	整形外科リハビリテーション	講義 整形外科リハビリテーション総論

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床内科学Ⅰ										
担当者氏名	複数外来講師										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

内科疾患の知識をもとに、作業療法に活かすために、主な内科疾患の病態、症状、疫学、予後、評価・検査、一般的治療を知る。

《テキスト》

奈良勲他監修：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版』。医学書院。2020。

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 内科学で扱う疾患について説明できる。
2. 主な循環器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
3. 主な代謝性疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
4. 主な呼吸器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
5. 主な消化器疾患を列挙でき、特徴について説明ができる。
6. 感染症、腎疾患、膠原病の特徴について説明ができる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、複数の医師が担当し、その実務経験を授業内容の講義などにいかした授業となっています。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	高橋	内科学総論	内科学総論
2	講義	原田	内科学各論	血液・内分泌疾患①
3	講義	原田	〃	血液、内分泌疾患②
4	講義	原田	〃	血液、内分泌疾患③
5	講義 オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患①
6	講義 オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患②
7	講義 オンデマンド	杉山	〃	循環器疾患③
8	講義 同時双方向	政木	〃	消化器疾患①
9	講義 同時双方向	政木	〃	消化器疾患②
10	講義	佐藤	〃	呼吸器疾患①
11	講義	佐藤	〃	呼吸器疾患②
12	講義	関	〃	感染症
13	講義	高橋	〃	膠原病
14	講義	上田	〃	腎臓疾患
15	講義	高橋	総論	まとめ

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床内科学Ⅱ										
担当者氏名	遠藤 敏、保崎 明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

高齢期にある対象者を的確に理解するために、老化がもたらす生理学的変化や老年者の疾患の特徴について学ぶ。
理学療法へ展開するために、小児の生理・心理・疾病の特徴と小児保健に関する基本的な知識を学ぶ。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

大村尉義編：『標準理学療法学・作業療法学 老年学第4版』。医学書院。2014。
日本老年医学会編：『老年医学テキスト3版』。MEDICALVIEW。2013。

《目標行動(SBO)》

【老年医学】1. 高齢者の特徴と医療・福祉政策が言える 2. 老化と加齢、老年症候群の特徴を言える 3. 高齢者の機能・生活評価の説明ができる
【小児科学】1. 先天異常について説明できる。2. 新生児の特徴について説明できる。3. 感染症、または予防接種の種類を列挙できる。4. 小児の発達過程を説明できる。5. 小児保健について説明できる。6. 循環器障害の種類と特徴について説明できる。

《学生の留意点》

老年の疾患でなく、高齢の生活者として考えるようにしてほしい。小児科学においては「こどもは大人の小型ではないので小児の身体的・心理的特徴、及び疾患の特徴をよく理解し、問題解決、治療指導において必要な技能、相応しい態度を身に付けられるように学習に臨んでほしい。

《成績評価の方法》

筆記試験100%（老年医学60%、小児科学40%）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は遠藤敏（理学療法士）と保崎明（小児科医）が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	遠藤	老年学とは	老年医学から老年学への発展
2	講義・演習	遠藤	高齢化の問題	高齢社会の抱える諸問題とその対策
3	講義・演習	遠藤	高齢者の生理学的特徴1	高齢者の生理学的特徴（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、体性感覚などの感覚器）
4	講義・演習	遠藤	高齢者の生理学的特徴2	高齢者の生理学的特徴（呼吸、心臓、腎臓、肝臓などの臓器）
5	講義・演習	遠藤	老年症候群	老年症候群と廃用症候群
6	講義・演習	遠藤	フレイルとロコモティブ・シンドローム	フレイルとロコモティブ・シンドロームの理解
7	講義・演習	遠藤	高齢者の主な疾患①	高齢者における、特に重要な疾患
8	講義・演習	遠藤	高齢者の主な疾患②	高齢者における、特に重要な疾患
9	講義・演習	遠藤	高齢者の機能・生活評価	高齢者の機能・生活評価の検査項目とテストバッテリー
10	講義・演習	保崎	小児の疾病1	成長・発達、新生児疾患、先天異常、アレルギー疾患
11	講義・演習	保崎	小児の疾病2	腎・泌尿器・消化器疾患、感染症、川崎病
12	講義・演習	保崎	小児の疾病3	呼吸器、内分泌疾患、先天性心疾患、小児救急他
13	講義・演習	保崎	〃	感染症
14	講義・演習	保崎	小児の疾病と障害 保健	発達と小児保健・循環器障害
15	講義・演習	保崎	〃	発達と小児保健・循環器障害

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	リハビリテーション医学										
担当者氏名	前島 早代、森 逸平、森 武男										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法/作業療法に展開するために、リハビリテーション医学の概念と各障害に対する基本的原則を学ぶ。

《テキスト》

三上真弘：『リハビリテーション医学テキスト改訂第4版』，南江堂，2016。

《参考図書》

講義内で提示します。

《目標行動(SBO)》

1. 各障害の生じる病態・疫学・予後を記述できる。
2. 各障害の診断法・医学的治療を説明できる。
3. 各障害に対する病期に応じたリハビリテーションを説明できる。
4. 各障害の特徴を列挙できる。

《学生の留意点》

正しい医学知識を身につけ、臨床での応用を常に念頭に置いて勉強してほしい。

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《実務経験のある教員による科目》

本科目は医師が担当し、その実務経験を授業内容に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	森(武)	総論2	臨床生理～骨格筋の解剖生理
2	講義	森(武)	総論2	バイオメカニクス～運動学
3	講義	森(逸)	総論3、4	リハビリテーション診断・治療
4	講義	前島	各論1	脳血管障害・頭部外傷1
5	講義	前島	各論1	脳血管障害・頭部外傷2
6	講義	森(武)	各論2	運動器疾患1 上肢の絞扼性神経障害まで
7	講義	森(武)	各論2、3	運動器疾患2 股関節の疾患～脊髄損傷
8	講義	前島	各論4	神経筋疾患
9	講義	森(逸)	各論5、7	切断とリウマチ性疾患
10	講義	前島	各論6	小児疾患
11	講義	森(逸)	各論8	循環器疾患 総論2 循環の臨床生理
12	講義	森(逸)	各論9	呼吸器疾患 総論2 呼吸の臨床生理
13	講義	森(逸)	各論10、11	腎疾患、内分泌代謝疾患
14	講義	森(逸)	各論12～15、20、21	集中治療、摂食・嚥下、栄養管理、がん、社会貢献、展開
15	講義	森(武)	各論16～19	外傷、骨粗鬆症、熱傷、その他

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	社会医学										
担当者氏名	小林 規彦、堀尾 隆										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標 (GIO)》

医療職である療法士としてのプライマリヘルスケアを理解するために、社会医学の概要について学ぶ。

《テキスト》

『理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション』，南江堂，2023年。

《参考図書》

授業内に提示する。

《目標行動 (SBO)》

- ・社会医学の概要を説明できる。
- ・国際的な流れと国内の動きを理解できる。
- ・理学療法の関与を説明できる。

《学生の留意点》

オンデマンド形式で実施するため、理解が曖昧な箇所は複数回の視聴により充足することが望まれる。

《成績評価の方法》

全ての回で提示する課題 100%

《実務経験のある教員による科目》

等科目は、実務経験ならびに当該分野専門教育経験のある講師が担当している。

《授業計画》

回	形式 (教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	小林	コースオリエンテーション	社会医学とは プライマリヘルスケアとは
2	講義	小林	社会・環境と健康	社会・環境と健康
3	講義	小林	疫病と予防医学	疫病と予防医学
4	講義	小林	生活習慣と疾病	生活習慣と疾病
5	講義	小林	感染症対策	感染症対策
6	講義	小林	国際保健	国際保健
7	講義	堀尾	地域保健	地域保健
8	講義	堀尾	産業保健	産業保健
9	講義	堀尾	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度
10	講義	小林	介護保険制度	介護保険制度
11	講義	小林	医の倫理と患者の人権	医の倫理と患者の人権
12	講義	堀尾	終末期医療と死の概念	終末期医療と死の概念
13	講義	堀尾	社会医学の中の理学療法 I	社会医学の中の理学療法
14	講義	堀尾	社会医学の中の理学療法 II	社会医学の中の理学療法
15	講義	小林	まとめ	

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅱ										
担当者氏名	藤川 明代										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅰ（地域リハビリテーション見学と検査測定実習）の目標を達成するために、検査測定技術について振り返りを行う。また、地域包括ケアシステムを概観し、介護保険法についても理解する。さらに臨床実習Ⅰについて振り返り、各々の課題を見つけてことができ、臨床実習Ⅱまでに学修すべき内容と学修プランを挙げられる。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

特に指定しない。

《目標行動(SBO)》

1. 臨床実習Ⅰ（地域リハビリテーション見学と検査測定実習）の目的を説明できる。
2. 介護保険法、地域包括ケアシステムの組織を理解できる。
3. 基本的な「検査測定」を学生間で実施できる。
4. 検査測定結果についての記録をSOAPを用いて実施できる。

《学生の留意点》

検査測定技術については前年度評価学で学んだ内容を復習し、さらなる技術向上に努めること。
また、対象者に対して適切な手技が行えるよう、ロールプレイでは医療従事者としての自覚を持って積極的に取り組むこと。

《成績評価の方法》

実技試験60% 提出課題40%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	藤川	地域リハビリテーションについて	地域包括ケアシステム/介護保険法
2	実技	藤川	理学療法検査測定	基本動作介助
3	実技	藤川	理学療法検査測定	基本動作介助
4	実技	藤川	理学療法検査測定	バイタルサイン/肢長周径
5	実技	藤川	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
6	実技	藤川	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
7	実技	藤川	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
8	実技	藤川	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
9	実技	藤川	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
10	実技	藤川	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
11	講義	藤川	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅰの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
12	講義・演習	藤川	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録（カルテ）」の書き方 ～SOAPとは～
13	講義・演習	藤川	臨床実習ポートフォリオ	「臨床実習Ⅰのまとめ」の書き方 ～結果の解釈について～
14	演習	藤川	実習後セミナー	実習の振り返り
15	演習	藤川	実習後セミナー	臨床実習報告会/臨床実習Ⅱに向けて

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法評価学Ⅰ										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

理学療法評価の総論を踏まえ、信頼性のある理学療法評価を実施できるようにするため、関節可動域測定および徒手筋力検定の意義・目的・方法を説明することができ、実施することができる。

《テキスト》

1. Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery著、津山直一 訳：
『新・徒手筋力検査法 原著第10版』、協同医書出版社、2020年。

《参考図書》

青木主税：『ROMナビ』、有限会社ラウンドフラット、2013年。

《目標行動(SBO)》

1. 定義・目的・原則を説明できる。
2. 測定を実施する際に、適切なオリエンテーションが行える。
3. 測定時に代償動作を抑制し、正しい位置に徒手抵抗を加えることができる。
4. 上下肢・体幹の徒手筋力検査において各関節運動方向での主動作筋・測定筋位が言える。
5. 関節可動域測定に必要なランドマークの触診ができる。
6. 基本軸・移動軸を説明できる。
7. 各関節の最終域感の確認と、制限因子の予測ができる。

《成績評価の方法》

期末試験 実技試験(70%)、筆記試験(30%)
実技・筆記試験において60%に満たない試験があり、かつ筆記・実技合計点数が60%に満たないものは実技試験・口頭質疑を再試験として課す。
オンデマンドの場合、課題の内容に不備があれば出席とみなさないことがある。

《学生の留意点》

1. 解剖学・運動学の知識が前提となるので十分に復習をしてください。
2. 実技は動きやすい服装(触診が可能なようにTシャツ・短パンまたは白衣)に着替えてください。
3. 数多くの経験をするために、実技では様々な人と練習を行ってください。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を授業内容の「理学療法評価演習の理解に向け検査測定とその解釈」に活かした授業としている

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	佐々木	理学療法評価とは 関節可動域測定・総論	理学療法評価総論 目的と意義、過程について 関節可動域を評価する意義、目的、過程 関節制限・最終域感について
2	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 肘関節	オリエンテーション、用手接触について 肘関節 屈曲・伸展
3	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 肩関節	肩関節 屈曲・伸展・内転・外転
4	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 肩関節②	肩関節 外旋・内旋・水平屈曲・水平伸展
5	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 肩甲骨帯	肩甲骨帯 屈曲・伸展・挙上・下制
6	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 手関節	橈骨手根関節 掌屈・背屈・橈屈・尺屈
7	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 前腕 股関節	前腕 回外・回内 股関節 屈曲・伸展
8	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 股関節②	股関節 内転・外転・内旋・外旋
9	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 膝関節 足関節	膝関節 屈曲・伸展 足関節 背屈・底屈
10	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 足関節② 足部	足関節 内転・外転 足部 回内・回外
11	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 足趾	中足趾節間関節・近位趾節間関節・遠位趾節間関節 屈曲・伸展
12	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 手指 足趾②	中手指節間関節・近位指節間関節・遠位指節間関節 屈曲・伸展・外転・内転
13	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 頸部 胸腰部	頸部 屈曲・伸展・回旋・側屈 胸腰部 屈曲・伸展・回旋・側屈
14	実技	佐々木	関節可動域測定・各論 その他の測定方法	メジャーを用いた測定、三関節角度計の紹介 症例演習
15	演習・実技	佐々木	症例演習	症例演習
16	講義・実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査総論：意義・目的・原則 徒手筋力検査：下肢(イントロダクション)
17	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：下肢
18	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：下肢
19	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：下肢
20	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：下肢
21	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢
22	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢
23	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢
24	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢
25	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢
26	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査：上肢・頸部
27	実技	佐々木	徒手筋力測定	徒手筋力検査法：頸部・体幹
28	実技	佐々木	他の筋力測定法	四肢長・四肢周径測定との統合
29	演習・実技	佐々木	演習	演習 単位時間内での測定とその工夫、メモについて
30	演習・実技	佐々木	発展	発展 検査測定と評価の違い、検査結果に解釈を加えよう

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法評価学Ⅱ										
担当者氏名	坂田 晋一										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

神経学的検査を実施するために、その意義・メカニズムを理解し、方法を習得する。

《目標行動(SBO)》

1. 各検査の定義・目的・原則を説明できる。2. 各検査の適切なリエンションを実施し、一般的な測定手順、注意点、リクを説明できる。3. 検査結果の記録方法、測定器具の使用方法を説明、使用できる。4. 各神経学的検査と障害・疾患の関係、神経解剖・生理学的背景を説明できる。5. 検査時、適切な肢位にて、適切な抵抗/刺激を与えることができる。

《成績評価の方法》

期末試験 実技試験(70%)、筆記試験(30%)によって評価を行う。筆記・実技試験において、各試験および合計点数が60%に満たない場合には再試験を課す。再試験は実技試験のみ実施し、知識は口頭試験で問う。

《テキスト》

1. 内山靖：『図解理学療法検査測定ガイド第3版』文光堂：2023
2. 松澤正：『理学療法評価学 改訂第6版』金原出版：2021

《参考図書》

鈴木則宏：『神経診察クローズアップ-正しい病果診断のコツ 改訂第3版』。メディカルビュー社。2015年。
田崎義昭他著：『ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版』。南山堂。2016年。
医療情報科学研究所：『病気がみえるvol.17 脳・神経 第2版』。メディックメディア。2017年。

《学生の留意点》

- ・解剖学・運動学・生理学の知識が前提となるので十分復習しておくこと。
- ・実技はケーシーまたは半袖ハーフパンツの格好に着替え、マスクを着用すること。
- ・爪、髪型など専門職に適した身だしなみとすること。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における理学療法士としての実務経験を生かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	坂田	総論	神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経
2	実技	坂田	総論	神経学的検査とは、麻痺の分類、中枢神経・末梢神経
3	実技	坂田	意識障害	意識障害の診かた、疼痛
4	実技	坂田	意識障害	意識障害の診かた、感覚
5	実技	坂田	知覚検査	知覚検査の意義、手順、注意事項、実技(触覚・痛覚・温度覚)
6	実技	坂田	知覚検査	知覚検査の意義、手順、注意事項、実技(触覚・痛覚・温度覚)
7	実技	坂田	知覚検査	知覚検査実技(深部覚、複合感覚)
8	実技	坂田	知覚検査	知覚検査実技(深部覚、複合感覚)
9	実技	坂田	反射検査	反射とは、深部腱反射、表在反射、病的反射
10	実技	坂田	反射検査	反射とは、深部腱反射、表在反射、病的反射
11	実技	坂田	反射検査	反射検査実技(深部腱反射、表在反射、病的反射)
12	実技	坂田	反射検査	反射検査実技(深部腱反射、表在反射、病的反射)
13	実技	坂田	筋緊張検査	筋緊張のメカニズム、筋萎縮、評価の方法
14	実技	坂田	筋緊張検査	筋緊張のメカニズム、筋萎縮、評価の方法
15	実技	坂田	筋緊張検査	筋緊張検査実技、筋萎縮評価実技
16	実技	坂田	筋緊張検査	筋緊張検査実技、筋萎縮評価実技
17	実技	坂田	協調性検査①	協調性検査とは、方法と手順
18	実技	坂田	協調性検査②	協調性検査の方法と手順
19	実技	坂田	片麻痺機能検査①	片麻痺機能検査とは、方法と手順
20	実技	坂田	片麻痺機能検査②	片麻痺機能検査、スピードテスト
21	実技	坂田	姿勢反射・バランス検査①	姿勢反射検査とは、バランスの定義
22	実技	坂田	姿勢反射・バランス検査②	姿勢反射・バランス検査
23	実技	坂田	脳神経検査①	脳神経検査とは、方法と手順
24	実技	坂田	脳神経検査②	脳神経検査の方法と手順
25	実技	坂田	高次脳検査・認知症	高次脳検査・認知症
26	実技	坂田	高次脳検査・認知症	高次脳検査・認知症
27	実技	坂田	症例検討①	症例検討 演習
28	実技	坂田	症例検討②	症例検討 演習
29	実技	坂田	症例検討①	症例検討 発表
30	実技	坂田	症例検討②	症例検討 発表、まとめ

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	運動療法学										
担当者氏名	中村 壮太										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

各理学療法治療学を発展させるために、理学療法の主要な治療法である運動療法を習得する。

《テキスト》

市橋則明編集：『運動療法学～障害別アプローチの理論と実際～第2版』。文光堂、2014。

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 運動療法の効果を上げることができ、中止基準を説明できる。
2. 静的ストレッチングを施行できる。
3. 原理原則に沿った筋力増強練習を施行できる。
4. 全身持久力と局所持久力に対する運動療法を施行できる。

《学生の留意点》

運動療法学を学ぶ前に、運動学、解剖学、生理学などの基礎医学の知識が必要となります。復習をしっかりとした上で、動きやすい服装で参加してください。

《成績評価の方法》

筆記試験40%・実技試験60%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を治療学の知識・技術獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	中村	理学療法士の治療	他職種の治療、理学療法士の治療 運動療法とは何か、運動療法の中止基準
2	実技	中村	関節可動域低下に対する理論	関節可動域が低下するとは、関節可動域制限の定義 関節可動域練習の効果と理論
3	実技	中村	関節可動域低下に対する運動療法①	6大関節に対するストレッチ
4	実技	中村	関節可動域低下に対する運動療法②	6大関節に対するストレッチ
5	実技	中村	関節可動域低下に対する運動療法③	6大関節に対するストレッチ
6	実技	中村	筋力低下に対する理論	筋力が低下する原因 筋力増強練習の効果と理論 RMとは 筋力増強練習の原理と原則
7	実技	中村	筋力低下に対する運動療法①	特異性の原理と過負荷の原理を用いた筋力増強練習
8	実技	中村	筋力低下に対する運動療法②	特異性の原理と過負荷の原理を用いた筋力増強練習
9	実技	中村	筋持久力低下に対する理論	筋持久力・局所持久力とは何か、筋持久力の診かた、筋持久力に対する運動療法
10	実技	中村	持久力低下に対する理論	運動負荷試験と運動負荷の評価
11	実技	中村	リラクゼーション	筋弛緩の定義、筋弛緩の目的、筋弛緩の方法
12	実技	中村	姿勢調整	理想的な姿勢アライメント、姿勢障害に対する運動療法をどのように進めるか
13	実技	中村	歩行練習	歩行練習で使用する器具の紹介 跛行と歩行練習について
14	実技	中村	運動学習	運動学習の理論
15	実技	中村	運動学習	運動学習 演習

科目名	日常生活活動論										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1	人を一個人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

適切な日常生活活動の支援を実現させるために、理学療法の観点から無意識に行っている日常生活活動を分析・評価し、対象者それぞれの生活の質を維持・向上できるような治療技術を習得する。また、補助具の処方・指導を実施できるようにするために、目的や使用方法を理解する。

《テキスト》

奈良勲監修：『日常生活活動学・生活環境学第4版』・医学書院、2017年。千野直一他：『脳卒中の機能評価-SIASとFIM「基礎編」』・医歯薬出版、2016年。

《参考図書》

伊藤利之著：『ADLとその周辺』・医学書院、2015年
大川嗣雄編：『日常生活動作（活動）』・医歯薬出版、1999年

《目標行動(SBO)》

1. 日常生活活動の概念、範囲（セルフケア、移動、コミュニケーション、IADL）が説明できる。
2. 代表的なADL評価の各特徴を説明し実施できる。
3. セルフケアの動作分析ができる（健康者）
4. 歩行・移動補助具や車椅子の処方・指導が出来る。
5. 動作の介助を標準的な方法で実施できる。
6. 代表的な疾患を踏まえADL指導ができる。

《学生の留意点》

1. 実技の際は白衣（KC）着用・保護ゴーグル着用で参加して下さい。
2. グループにて課題を遂行するものもあります。時間調整など協力して進めて下さい。
3. レポートや課題の提出は時間を厳守して下さい。

《成績評価の方法》

筆記試験40% 課題発表10% 実技試験50%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	長屋	コース・オリエンテーション	オリエンテーション・日常生活の概念・範囲/ICFによる理学療法評価
2	講義	長屋	ADLの概念	ADLの概念/ICFによる理学療法評価（作成）/セルフケア
3	講義・演習	長屋	ADLを評価する1	できるADLとしているADL、目標とするADL/「できる」の定義
4	講義・演習	長屋	ADLを評価する2	量的評価（BI）自立度を使用した日常生活活動の評価/質的評価と量的評価
5	講義・演習	長屋	ADLを評価する3	量的評価（FIM）1
6	講義・演習	長屋	ADLを評価する4	量的評価（FIM）2
7	講義・演習	長屋	ADLを評価する5	量的評価（FIM）3
8	実技	長屋	移動補助具1	移動補助具の種類と適応1（車椅子）/車いすメンテナンス
9	実技	長屋	移動補助具2	移動補助具の種類と適応2（杖・松葉杖その他 障害物 階段）
10	実技	長屋	移動補助具3	移動補助具の種類と適応3（杖・松葉杖その他 障害物 階段）起き上がり/立位
11	実技	長屋	無意識のADLを視覚化してみる	起き上がり
12	実技	長屋	移乗動作介助 2人全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/2人：全介助/タオル1人：起き上がり/1人）
13	実技	長屋	移乗動作介助 軽介助	移乗・移動動作を誘導する（軽介助）
14	実技	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助）
15	実技	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助）
16	実技	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
17	実技	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
18	実技	長屋	移乗動作介助 全介助	移乗・移動動作を誘導する（全介助/リスク管理）
19	実技	長屋	移乗動作介助 環境整備	特殊な移乗・移動介助（介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター）
20	実技	長屋	移乗動作介助 環境整備	特殊な移乗・移動介助（介助バー・ずり落ち修正・T/B・リフター）
21	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 1	グループワーク 1 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
22	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 2	グループワーク 2 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
23	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 3	グループワーク 3 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
24	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 4	グループワーク 4 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
25	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 5	グループワーク 5 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
26	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域 6	グループワーク 6 実際にどのような角度と動作が必要なのか調べてみよう1
27	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域発表	グループ発表
28	講義・演習	長屋	ADLに必要な可動域発表	グループ発表
29	講義・演習	長屋	移動困難な状況とは1	移動介助の応用編（THA）
30	講義・演習	長屋	移動困難な状況とは2	高齢者とADL（フレイル/ロコモティブシンドローム/寝たきりなど）

《専門分野 地域理学療法学》

科目名	地域理学療法学										
担当者氏名	長屋 説										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

理学療法士が医療機関内に留まることなく、実生活での対象者に対して支援を行うために必要な知識を修得する。また、地域包括ケアシステムが展開されている現在、理学療法領域の広がりを見据えて、介護予防・健康増進・さらには災害時支援・国際支援と視野を広げた医療機関以外での多くの活動を理解する。

《テキスト》

資料を配付。

《参考図書》

- ・地域理学療法学, メジカルビュー
- ・ゴールドマスターテキスト 地域理学療法学, メジカルビュー
- ・地域理学療法学テキスト, 学術研究出版
- ・最新 理学療法学講座 地域理学療法学, 医歯薬出版

《学生の留意点》

- ・今後の感染症対策の関係で、授業内容や評価方法が変更になることがあります。
- ・地域の中のどのような場面や方法で、理学療法士としての役割を発揮できるのか、興味や理解を深めてください。

《目標行動(SBO)》

①地域におけるPTの役割, および多職種連携について説明できる。②災害時や国際支援に対するPTの役割について説明できる。③健康維持・介護予防に対するPTの役割について説明できる。④緩和ケア・終末期におけるPTの役割について説明できる。⑤産業理学療法におけるPTの役割について説明できる。⑥学校保健や特別支援教育におけるPTの役割について説明できる。

《成績評価の方法》

課題（レポートやミニツペーパー） 5～10点
提出期限を過ぎた場合は採点されません。

感染対策下においては変更になる可能性もあります。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、医療機関外で視野の広い活動をされている理学療法士（外部講師：理学療法士）と長屋（専任教員：理学療法士）が担当し、実務経験を活かした授業としています。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	長屋	授業オリエンテーション	コースオリエンテーション/評価方法/授業準備について/歴史
2	講義	田島	介護保険サービス/介護予防の階層	(田島敬之: 東京都立大学 健康福祉学部・人間健康科学研究科 准教授) 地域とは/地域理学療法/CBRの概念/1次予防/2次予防/3次予防/他
3	講義	田島	地域包括ケアシステム	(田島敬之: 東京都立大学 健康福祉学部・人間健康科学研究科 准教授) 地域包括ケアシステム/地域ケア会議/他
4	講義	長屋	訪問における理学療法士	(長屋説: 訪問看護ステーション ふれあい21 理学療法士) 訪問リハビリテーションでの理学療法士の役割
5	講義	定森	国際支援における理学療法	(定森みちる: 理学療法士) ～JICAでの活動について～ 国際支援における理学療法士の役割/国際支援に関わる基盤について
6	講義	長屋	介護予防における理学療法士	(長屋説: JAセレサ介護予防教室 理学療法士) 介護予防における理学療法士の役割
7	講義	山崎	行政における理学療法士	(山崎隆: 大和市役所 総合事業担当 理学療法士) ～事例紹介～ 行政における理学療法士の機能と役割
8	講義	長屋	入所施設/通所施設の理学療法士	(長屋説: 高齢者在宅支援センター 非常勤 理学療法士 ～2020年施設終了) 入所・通所施設での理学療法士の役割
9	講義	込山	緩和ケア・終末期医療における理学療法	(込山志保子: 杏雲堂病院 終末期・緩和ケア病棟) ～がん患者さんのリハビリテーション～ 緩和ケアにおける理学療法士の役割/終末期医療における理学療法士の役割
10	講義	長屋	健康維持、健康増進における理学療法士	(長屋説: 八王子体操教室 理学療法士) 健康維持、健康増進における理学療法士の役割
11	講義	中山	特別支援教育における療法師の役割	(中山雅和: 特別支援教育 小金井市発達支援センター 療法師) 特別支援教育における理学療法士の役割/特別支援教育での業務について
12	実技	長屋	健康維持、健康増進における理学療法士2	(長屋説: 八王子体操教室 理学療法士) 体力測定会(講堂)
13	講義	田舎中	ウィメンズヘルス メンズヘルス	(田舎中真由美: 日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会 教育担当理事) (仮) ライフステージとQOL (仮)
14	講義	外来講師	災害時の理学療法	大規模震災時における活動支援/災害時における理学療法士の役割
15	講義	長屋	産業理学療法	(長屋説: 日本産業理学療法研究会 会員 理学療法士) 産業理学療法における理学療法士の役割

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習 I										
	藤川 明代										
授業方法	実習	単位数	2	回数	-	時間数	90	開講年次	2	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1	人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人								○
		DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人								○
		DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人								○
		DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人								○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習指導者の指導のもと、学内で習得した検査・測定技術を臨床の中で実施し、結果の原因分析や解釈を行う。また、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を学ぶ。さらに、理学療法士および医療専門職として、適切な態度や行動を養うことを目的とする。

《テキスト》

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 基本的検査手技が実施できる。
2. 検査結果の解釈を述べることができる。
3. 各検査間の関連性を言える。
4. 起居、移乗・移動動作などの介助が行える。
5. 地域リハビリテーション事業について説明できる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評価は「合」・「否」の2段階で行います。

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1				・2～3月の2週間（45h*2）。 ・地域リハビリテーション施設での見学（1週間）と検査測定技術の体験（1週間）を実施。
2				肢長・周径測定、ROMテスト、徒手筋力テスト、神経学的テストなどの検査測定の実施と記録を数多く実施させる。
3				実施した検査測定項目ごとに、正常から逸脱した結果を抽出させ、知識の範囲内で原因分析をさせる。
4				各検査間の関連性を考察させる。
5				標準的な方法で起居動作介助や移乗・移動動作などの介助を数多く実習させる。
6				地域リハビリテーションの現場を見学する。
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	疾病管理論										
担当者氏名	山川 美雪、新田 恵子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

医療職である療法士として疾病予防とその管理を理解するために、栄養学、臨床薬学、救急救命医学を学ぶ。

《テキスト》

麻美直美、塚原典子：『好きになる栄養学』 第3版 講談社サイエンティフィック、2020年。

《参考図書》

『リハビリテーション栄養ポケットガイド』（配布）

《目標行動(SBO)》

1. 栄養学の基礎知識と医療現場での栄養療法の基礎を理解できる。
2. 薬の概要を学び、生体内動態を理解できる。
3. 応急手当を実施できる。

《学生の留意点》

理学療法業務の中で、遭遇する重要な知識、技術を扱います。短期間ですが、集中して習得してください。よく分からないことやもっと知りたいことを沢山つくり、各講師と対話をするようお願いします。

なお、上級救命講習は、午前9時から終日を使う集中授業で開講します。

《成績評価の方法》

栄養学、臨床薬学、救急救命医学がそれぞれ1/3ずつ評価し、合算の上、評定をつける。

《実務経験のある教員による科目》

実務経験がある管理栄養士、薬剤師、そして救急救命士が担当する。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	山川	栄養学①	栄養学概論（栄養とは・消化と吸収）
2	講義	山川	栄養学②	栄養素の種類と機能Ⅰ（三大栄養素）
3	講義	山川	栄養学③	栄養素の種類と機能Ⅱ（ビタミン・ミネラル）
4	講義	山川	栄養学④	運動と栄養（エネルギー代謝・スポーツ栄養）
5	講義	山川	栄養学⑤	リハビリテーション栄養（リハビリテーション栄養とは・栄養評価・栄養ケアプロセス）
6	講義	新田	臨床薬学①	薬の歴史・薬の種類
7	講義	新田	臨床薬学②	薬の生体内動態（吸収・分布・代謝）
8	講義	新田	臨床薬学③	薬の生体内動態（排泄、副作用）
9	講義	新田	臨床薬学④	薬のしくみと治療薬・相互作用
10	講義	新田	臨床薬学⑤	疾患に対する薬物療法
11	実技	消防	救命救急医学①	上級救命講習① 心肺蘇生①
12	実技	消防	救命救急医学②	上級救命講習② 心肺蘇生②
13	実技	消防	救命救急医学③	上級救命講習③ AED①
14	実技	消防	救命救急医学④	上級救命講習④ AED②
15	実技	消防	救命救急医学⑤	上級救命講習⑤ 応急手当

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	臨床運動学										
担当者氏名	福田 崇										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

動作における問題点を抽出できるようになるために、理学療法評価における動作観察・分析の位置づけを理解し、健康者や患者の姿勢観察・分析、動作観察・分析の方法を理解する。

《テキスト》

基礎運動学 第6版補訂 医歯薬出版（6800円）

《参考図書》

日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ 第2版 南江堂（6380円）
視察による歩行分析 医学書院（5000円）
介護にかすバイオメカニクス 医学書院（4095円）
PT・OTビジュアルテキスト 姿勢・動作・歩行分析 羊土社（5000円）
脳卒中片麻痺の基本動作分析 メジカルビュー社（5940円）
内山靖：『図解理学療法検査測定ガイド第3版』文光堂：2023

《目標行動(SBO)》

1. 姿勢と動作の観察に必要な用語を使うことができる。
2. 基本姿勢・動作について、観察により発見した特徴を描画（図示）することができる。
3. 基本動作における活動の評価ができる。
4. 基本動作における活動と健康状態を関連付けし説明できる。
5. 基本動作における活動と心身機能・身体構造を関連付けし説明できる。

《学生の留意点》

- ・演習時は動作観察し易い服装に着替えること。
- ・講義の進捗状況によって単元が入れ替わることがあります。
- ・演習時は能動的に学習を実施し、協同学習者とともに良い学びとなるよう努力すること。
- ・講義内外に積極的に観て、考えて、書くことが上達に繋がりますので毎回筆記具を持ってきてください。

《成績評価の方法》

筆記試験100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を姿勢や動作の観察・分析のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	福田	動きに関する概要1	動きを考える対象と側面
2	実技	福田	動きに関する概要2	動きの研究、理学療法士にとっての動き
3	実技	福田	動きの評価1	動きの評価
4	実技	福田	動きの評価2	動きを評価する視点と基準
5	実技	福田	動きの評価3	理学療法士が動きを評価する視点
6	実技	福田	動きの評価4	理学療法士が動きを評価する基準
7	実技	福田	臥位動作のメカニズム1	臥位動作における身体運動
8	実技	福田	臥位動作のメカニズム2	臥位動作に必要な身体構造と心身機能
9	実技	福田	臥位動作の評価1	臥位動作の日常生活動作的評価
10	実技	福田	臥位動作の評価2	臥位動作の異常動作的評価
11	実技	福田	臥位動作の評価3	臥位動作の運動学的評価
12	実技	福田	臥位動作の評価4	臥位動作の評価まとめ
13	実技	福田	座位動作のメカニズム1	座位動作における身体運動
14	実技	福田	座位動作のメカニズム2	座位動作に必要な身体構造と心身機能
15	実技	福田	座位動作の評価1	座位動作の日常生活動作的評価
16	実技	福田	座位動作の評価2	座位動作の異常動作的評価
17	実技	福田	座位動作の評価3	座位動作の運動学的評価
18	実技	福田	座位動作の評価4	座位動作の評価まとめ
19	実技	福田	立位動作のメカニズム1	立位動作における身体運動
20	実技	福田	立位動作のメカニズム2	立位動作に必要な身体構造と心身機能
21	実技	福田	立位動作の評価1	立位動作の日常生活動作的評価
22	実技	福田	立位動作の評価2	立位動作の異常動作的評価
23	実技	福田	立位動作の評価3	立位動作の運動学的評価
24	実技	福田	立位動作の評価4	立位動作の評価まとめ
25	実技	福田	移動動作のメカニズム1	移動動作（歩行、走行）における身体運動
26	実技	福田	移動動作のメカニズム2	移動動作（歩行、走行）に必要な身体構造と心身機能
27	実技	福田	歩行の評価1	歩行の日常生活動作的評価
28	実技	福田	歩行の評価2	歩行の異常動作的評価
29	実技	福田	歩行の評価3	歩行の運動学的評価
30	実技	福田	歩行の評価4	歩行の評価まとめ

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅲ										
担当者氏名	福田 崇										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅱ（評価実習）の目標を達成するために、基本動作介助、検査測定技術や臨床推論についての振り返りを行う。また、臨床実習Ⅱについて振り返り、各々の課題を見つけることができ、臨床実習Ⅲまでに学修すべき内容と学修プランを挙げられる。

《テキスト》

特に指定なし

《参考図書》

特に指定なし

《目標行動(SBO)》

1. 臨床実習Ⅱ（評価実習）の目的を説明できる。
2. 基本的な「基本動作介助」を実施できる。
3. 基本的な「検査測定」を実施できる。
4. 検査測定結果の解釈や統合が実施できる。
5. 動作観察と分析が実施できる。

《学生の留意点》

評価実習に向けての演習となるため、検査・測定方法の予習・復習を必ず行うこと。また、臨床推論学修に必要な基礎科目も適宜確認・復習することが望ましい。

《成績評価の方法》

実技試験50% 提出課題50%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	福田	理学療法検査測定	バイタルサイン/基本動作介助
2	実技	福田	理学療法検査測定	四肢長周径/基本動作介助
3	実技	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
4	実技	福田	理学療法検査測定	関節可動域測定/徒手筋力検査/神経学的検査
5	実技	福田	理学療法検査測定	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定を実施
6	講義・演習	福田	理学療法プロセス（臨床思考過程）	情報収集について
7	講義・演習	福田	理学療法プロセス（臨床思考過程）	問題点抽出/目標設定/プログラム立案
8	講義・演習	福田	理学療法プロセス（臨床思考過程）	問題点抽出/目標設定/プログラム立案
9	講義・演習	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
10	講義・演習	福田	理学療法検査測定技術の確認（実技試験）	検査測定技術の確認とフィードバック
11	講義・演習	福田	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録（カルテ）」の書き方 ～SOAPを深める～
12	講義・演習	福田	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例のまとめ」の書き方 ～動作と機能の関連性～
13	講義	福田	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅱの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
14	演習	福田	実習後セミナー	実習の振り返り
15	演習	福田	実習後セミナー	臨床実習報告会/臨床実習Ⅲに向けて

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法評価学Ⅲ										
担当者氏名	森田 浩章, 沼尾 拓, 伊東 彰										
授業方法	講義	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

妥当な理学療法評価を実施するために、画像情報や臨床検査情報の結果を理解する。

《テキスト》

石川朗編：『15レクチャーシリーズ リハビリテーションテキスト 画像評価学』、中山書店、2024

《参考図書》

水間正澄/川手信行：『リハビリテーション医療に活かす画像のみかた』、南江堂、2019。
宮越浩一編：『画像評価』、医学書院、2021。
高木康他編：『標準臨床検査医学』第4版、医学書院、2013。
美津島隆他監修：『リハスタッフのためのイチからわかる臨床検査活用術』、メディカルビュー社、2018。

《目標行動(SBO)》

1. 画像情報の正常と異常所見が判別できる。
2. 血液学的/生化学検査の基準値と異常値が判別でき、異常の原因を説明できる。
3. 生体機能検査の基準値と異常値が判別でき、異常の原因を説明できる。

《学生の留意点》

安全な理学療法を遂行する上で必須の情報である画像、血液検査、生理検査を理解することは、病態の理解や理学療法の効果判定に欠かせません。解剖学、生理学、病理学、臨床医学の復習をしながら、学習をすすめてください。

《成績評価の方法》

筆記試験100%
60%未満の場合は再試験を課す。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	沼尾	総論	理学療法評価のふりかえり、画像情報/臨床検査の概要、理学療法評価における画像情報/臨床検査の意義
2	講義・演習	森田	運動器系画像情報①	脊椎
3	講義・演習	森田	運動器系画像情報②	上肢
4	講義・演習	森田	運動器系画像情報③	骨盤・下肢
5	講義・演習	森田	血液学的検査	血球検査、血栓/止血検査
6	講義・演習	森田	生化学検査	ホルモン系、肝/胆/腎/膵系、タンパク/酵素系、糖質/脂質系、電解質/血液ガス、尿、腫瘍マーカー、免疫系
7	講義・演習	沼尾	生体機能検査①	超音波検査、呼吸機能検査、心電図
8	講義・演習	沼尾	生体機能検査②	筋電図、基礎代謝
9	講義・演習	沼尾	循環器系画像情報	心不全、大動脈瘤/大動脈解離、深部静脈血栓症
10	講義・演習	沼尾	呼吸器系画像情報	肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、気胸
11	講義・演習	沼尾	中枢神経系画像情報①	脳画像の基本的見方
12	講義・演習	沼尾	中枢神経系画像情報②	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、硬膜下・硬膜外出血 正常圧水頭症、脳腫瘍、認知症、神経変性疾患
13	講義・演習	伊東	症例検討①	症例を通して、理学療法評価への画像情報と臨床検査情報の活用を学ぶ
14	講義・演習	伊東	症例検討②	症例を通して、理学療法評価への画像情報と臨床検査情報の活用を学ぶ
15	講義・演習	沼尾	まとめ	コース全体の「ふりかえり」と理学療法臨床推論への接続を考察する

《専門分野 理学療法評価学》

科目名	理学療法臨床推論										
担当者氏名	小宮山 一樹										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

適切な治療を提供できるようになるために、理学療法評価の位置づけや流れを理解し、症例検討を通じて理学療法評価における一連の流れ、臨床推論を理解、実践する。

《テキスト》

資料を配布する。

《参考図書》

千住秀明監修：『理学療法学テキストⅡ 理学療法評価法第3版』、神陵文庫、2011年。
内山靖：『標準理学療法学（理学療法評価学）第2版』、医学書院、2004年。

《目標行動(SBO)》

1. 評価の各項目（情報収集・問題点の抽出・目標設定・プログラム立案）について説明できる。
2. 検査測定結果に意味づけをおこなうことができる。
3. 検査測定結果や情報の統合を行い、問題点を抽出できる。
4. 目標設定・治療計画立案を行うことができる。

《学生の留意点》

検査測定結果や情報収集結果を統合し治療プログラム立案までの思考過程を学ぶ授業である。思考を言語化することを意識して受講してほしい。

《成績評価の方法》

期末試験(60%)、レポート課題(40%)
再試験要件 期末試験(60%)と課題(40%)の合計100点のうち合計60点未満の者は再試験とする。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	小宮山	理学療法評価・臨床推論とは	臨床推論オリエンテーション/理学療法プロセス（一連の流れ）を理解する
2	講義・演習	小宮山	各種情報と情報収集	各種情報について理解し、情報収集の方法を知る
3	講義・演習	小宮山	模擬症例の想定	各種情報を踏まえ、模擬症例を想定する
4	講義・演習	小宮山	医学的情報からわかること	医学的情報の解釈
5	講義・演習	小宮山	検査結果からわかること①	理学療法評価結果の解釈 ～機能障害～
6	講義・演習	小宮山	検査結果からわかること②	理学療法評価結果の解釈 ～動作～
7	講義・演習	小宮山	検査結果からわかること③	理学療法評価結果の解釈 ～検査間のつながりを意識する～
8	講義・演習	小宮山	問題点抽出の方法	問題点抽出の方法を学ぶ/ICFの利用について
9	講義・演習	小宮山	問題点抽出の実際①	関連図を利用して問題点を整理する
10	講義・演習	小宮山	問題点抽出の実際②	統合と解釈の文章化の方法
11	講義・演習	小宮山	目標設定・プログラム立案の方法	目標設定、プログラム立案の方法
12	講義・演習	小宮山	目標設定・プログラム立案の実際	目標設定、プログラム立案を実施する
13	講義・演習	小宮山	考察・レジュメ	考察の書き方について/レジュメの作成方法について
14	講義・演習	小宮山	症例報告会①	症例報告会の方法/レジュメ作成・症例報告会の準備
15	講義・演習	小宮山	症例報告会②	症例報告会の実施

科目名	運動器系理学療法学										
担当者氏名	中村 壮太、坂田 晋一										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人								
		DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人								○
		DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人								
		DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人								

《一般教育目標(GIO)》

運動器障害に対する理学療法評価および治療立案および実施するために、代表的な整形外科疾患の病態と障害に対する検査測定および治療プログラムを身につける。

《テキスト》

神野哲也：ビジュアル実践リハ 整形外科リハビリテーション。羊土社、2012。

《参考図書》

井橋栄二：標準整形外科学 第15版。医学書院、2023。
S. Hoppenfeld：図解 四肢と脊椎の診察。医歯薬出版、1984。
市橋則明編：運動療法学 第2版。文光堂、2014。
病気がみえるvol.11運動器・整形外科。MEDEC MEDIA、2017

《目標行動(SBO)》

1. 各関節の機能解剖と機能障害を踏まえた検査測定ができる。
2. 運動器障害を引き起こす代表的な整形外科疾患を説明できる。
3. 疾患名からリスク・運動器の障害・検査測定が想起できる。
4. 基本的な運動療法の方法・留意点を理解し説明できる。
5. 代表的な運動療法プログラムを想起でき、実施できる。

《成績評価の方法》

実技試験100%（評価3・治療2）身だしなみ不良、部位・左右間違いは0点、妥当性（触診位置、運動方向、抵抗方向、軸、ストレス量、荷重、速度）信頼性（触診、左右間違い、不適切な抵抗・運動方向、四肢の検査後の放置、ROM最終域不十分、UMT可動域確認不足、落下・転倒・転落、脱臼）等で評価。

《学生の留意点》

授業前に、半袖ハーフパンツの格好・実技復習の準備・感染対策をお願いします。以下の注意点を気を付けながら、実技を習得すること。①事前準備 ②オリエンテーション ③体調確認 ④触れ方 ⑤動かし方 ⑥動作指示 ⑦検査測定 ⑧治療 ⑨記録 ⑩結果説明 ⑪片付け。また見づらさ等の工夫や配慮をしておりますが行き届かない点もあるためお声掛け下さい。

《実務経験のある教員による科目》

・本科目は中村壮太、坂田晋一（理学療法士）が担当し、その実務経験を授業に反映している。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	坂田	授業説明・総論①	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療
2	実技	坂田	授業説明・総論②	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療
3	実技	坂田	下肢各論①	股関節の評価・治療
4	実技	坂田	下肢各論②	股関節の評価・治療
5	実技	坂田	下肢各論③	股関節の評価・治療・症例問題
6	実技	坂田	下肢各論④	股関節の評価・治療・症例問題
7	実技	坂田	下肢各論⑤	膝関節・下腿の評価・治療・症例問題
8	実技	坂田	下肢各論⑥	膝関節・下腿の評価・治療・症例問題
9	実技	中村	下肢各論⑦	足関節・足部の評価・治療・症例問題
10	実技	中村	下肢各論⑧	足関節・足部の評価・治療・症例問題
11	実技	森田	スポーツ理学療法①	スポーツ損傷・外傷に関わる理学療法（森田）※テーピング
12	実技	森田	スポーツ理学療法②	スポーツ損傷・外傷に関わる理学療法（森田）※テーピング
13	実技	中村	上肢各論①	肩関節の評価・治療・症例問題
14	実技	中村	上肢各論②	肩関節の評価・治療・症例問題
15	実技	中村	上肢各論③	肘関節の評価・治療・症例問題
16	実技	中村	上肢各論④	肘関節の評価・治療・症例問題
17	実技	中村	上肢各論⑤	手関節・手部の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
18	実技	中村	上肢各論⑥	手関節・手部の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
19	実技	中村	体幹各論①	上部脊椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
20	実技	中村	体幹各論②	上部脊椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
21	実技	中村	体幹各論③	下部脊椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
22	実技	中村	体幹各論④	下部脊椎の評価・治療・症例問題 末梢神経内容を含む
23	実技	坂田	評価・治療技能習得①	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療 ～臨床実習に向けて～
24	実技	坂田	評価・治療技能習得②	整形外科（骨折・脱臼・変形性関節症）リハにおける評価・治療 ～臨床実習に向けて～
25	実技	中村	リウマチ各論①	関節リウマチの評価・治療・症例問題
26	実技	中村	リウマチ各論②	関節リウマチの評価・治療・症例問題
27	実技	坂田/中村	評価・治療技能習得③	代表的な評価技能の練習を行う
28	実技	坂田/中村	評価・治療技能習得④	代表的な治療技能の練習を行う
29	実技	宮田/佐藤	超音波画像診断と理学療法①	超音波画像診断装置を用いた理学療法（外部講師）
30	実技	宮田/佐藤	超音波画像診断と理学療法②	超音波画像診断装置を用いた理学療法（外部講師）

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	中枢神経系理学療法学Ⅰ										
担当者氏名	山形 哲行										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

脳卒中後遺症患者に対し、理学療法を展開するために、脳血管疾患の障害を理解し、その障害における評価方法についての知識・技術を得得し、基本的な介入方法を身につける。

《目標行動(SBO)》

1. 脳画像を見て構造と機能が説明できる。
2. 脳血管疾患における障害を説明できる。
3. 脳血管疾患の評価項目を列挙し、実施・記載することができる。

《成績評価の方法》

実技試験 (30%)、筆記試験 (70%)

《テキスト》

標準理学療法学 神経理学療法学 第3版 医学書院

《参考図書》

鈴木恒彦・紀伊克昌・真鍋清則 著：『脳卒中の臨床神経リハビリテーション』。市村出版。2016年。、梶浦一郎・紀伊克昌・鈴木恒彦 著：『脳卒中の治療・実践神経リハビリテーション』。市村出版。2012年。、Oswald Steward 著 伊藤博信 他訳：『機能的神経科学』。丸善出版。2007年。、富田昌夫 訳：『Steps to Follow』。シュブツカン・フエア東京。2005年。

《学生の留意点》

- * 実技についてはジャージ・Tシャツ・短パン等で臨むこと。
- * 脳血管障害患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
- * より多くの学生と実技を行うこと。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	山形	総論	脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理と脳画像診断①
2	講義	山形	総論	脳血管障害のリハビリテーションの考え方、脳の解剖と生理と脳画像診断②
3	講義	山形	各論	脳血管障害の病態と障害の理解①
4	講義	山形	各論	脳血管障害の病態と障害の理解②
5	講義・実技	山形	各論	筋緊張と腱反射の関係、連合反応、筋緊張の評価①
6	講義・実技	山形	各論	筋緊張と腱反射の関係、連合反応、筋緊張の評価②
7	講義・実技	山形	各論	感覚障害、高次脳機能障害の病態および評価①
8	講義・実技	山形	各論	感覚障害、高次脳機能障害の病態および評価②
9	講義・実技	山形	脳血管障害の合併症	嚥下障害、二次的合併症①
10	講義・実技	山形	脳血管障害の合併症	嚥下障害、二次的合併症②
11	講義	山形	リスク管理	急性期のリスク管理、予後予測、治療の考え方①
12	講義	山形	リスク管理	急性期のリスク管理、予後予測、治療の考え方②
13	実技	山形	治療学基礎	急性期のポジショニング、機能障害に対するハンドリング①
14	実技	山形	治療学基礎	急性期のポジショニング、機能障害に対するハンドリング②
15	講義・実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の姿勢の評価①
16	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の姿勢の評価②
17	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の寝返り・起き上がり動作の評価とその誘導①
18	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の寝返り・起き上がり動作の評価とその誘導②
19	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の立ち上がり動作の評価とその誘導①
20	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の立ち上がり動作の評価とその誘導②
21	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の座位・立位バランス評価とその誘導①
22	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の座位・立位バランス評価とその誘導②
23	講義・実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の歩行動作の評価とその誘導、歩行の神経学的機構①
24	実技	山形	治療学基礎	脳血管障害患者の歩行動作の評価とその誘導、歩行の神経学的機構②
25	講義	山形	EBPT	脳血管患者へのEBPT①
26	講義	山形	EBPT	脳血管患者へのEBPT②
27	演習	山形	症例検討	模擬症例に対する評価演習①
28	演習	山形	症例検討	模擬症例に対する評価演習②
29	演習	山形	症例検討	模擬症例に対する治療方針の検討①
30	演習	山形	症例検討	模擬症例に対する治療方針の検討②

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	中枢神経系理学療法学Ⅱ										
担当者氏名	山形 哲行										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標 (GIO)》

脳血管障害患者に対して理学療法を実施できるようになるために基礎的な治療技術を習得する。

《テキスト》

鈴木恒彦・紀伊克昌・真鍋清則編
脳卒中の臨床神経リハビリテーション 市村出版

《参考図書》

随時紹介していく。

《目標行動 (SBO)》

1. 姿勢・動作改善のためのハンドリングが実施できる。
2. 脳血管障害患者に対する評価から治療手段の選択までの一連の流れを組み立てることができる。
3. 脳血管障害患者のADL改善のための治療手段を選択できる。
4. 脳血管障害患者に対して、理学療法治療計画を立案し、一部を実施できる。

《学生の留意点》

- *患者を想定し、動作の誘導方法を身に付けて欲しい。
- *実技についてはジャージ・Tシャツ等で臨むこと。
- *より多くの学生と実技を行うこと。

《成績評価の方法》

実技課題（40%）、筆記テスト（60%）、で総合的に評価する。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は山形哲行（理学療法士）が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	山形	治療学総論①	脳血管障害患者の理学療法に必要な神経機構、治療戦略、ハンドリングの基本①
2	講義・実技	山形	治療学総論②	脳血管障害患者の理学療法に必要な神経機構、治療戦略、ハンドリングの基本②
3	実技	山形	治療学各論①	ハンドリング：寝返り～起き上がり①
4	実技	山形	治療学各論②	ハンドリング：寝返り～起き上がり②
5	実技	山形	治療学各論③	ハンドリング：座位～立ち上がり①
6	実技	山形	治療学各論④	ハンドリング：座位～立ち上がり②
7	実技	山形	治療学各論⑤	バランス反応の再教育（座位・立位バランス）
8	実技	山形	治療学各論⑥	ハンドリング：歩行
9	講義・実技	山形	治療学各論⑦	上肢の評価と治療①
10	講義・実技	山形	治療学各論⑧	上肢の評価と治療②
11	講義・実技	山形	歩行の神経機構	半側空間無視の評価と治療
12	講義・実技	山形	治療学各論⑨	脳血管障害の失調症患者への評価と治療①
13	講義・実技	山形	脳血管障害のエビデンス	脳血管障害の失調症患者への評価と治療①
14	演習	山形	症例検討①	脳血管障害患者の模擬症例検討①
15	演習	山形	症例検討②	脳血管障害患者の模擬症例検討②

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	発達系理学療法学										
担当者氏名	平井 孝明										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

代表的小児疾患における発達障害領域の対象児に理学療法を実施するために、必要な評価・治療の実践を理解する。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

毎回の授業時に紹介します。

《目標行動(SBO)》

1. 小児運動発達について説明できる。
2. 小児疾患の特徴を理解できる。
3. 臨床像より評価、問題点の把握、治療の方向性を提示できる。

《学生の留意点》

適時、実技を行いますので、服装に留意してください。また、授業終了時にレポートを提出していただきます。

《成績評価の方法》

レポート60%、期末試験40%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床思考能力獲得のために活かせる授業内容で実施します。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	平井	オリエンテーション	オリエンテーション
2	講義・実技	平井	小児理学療法	小児運動発達
3	講義・実技	平井	小児理学療法	小児整形外科疾患
4	講義・実技	平井	小児理学療法	二分脊椎①
5	講義・実技	平井	小児理学療法	二分脊椎②
6	講義・実技	平井	小児理学療法	染色体異常
7	講義・実技	平井	小児理学療法	脳性麻痺 痙直型①
8	講義・実技	平井	小児理学療法	脳性麻痺 痙直型①
9	講義・実技	平井	小児理学療法	脳性麻痺 アテトーゼ型①
10	講義・実技	平井	小児理学療法	脳性麻痺 アテトーゼ型②
11	講義・実技	平井	小児理学療法	脳性麻痺 失調型①
12	講義・実技	平井	小児理学療法	呼吸・摂食
13	講義・実技	平井	小児理学療法	重症心身障害児①
14	講義・実技	平井	小児理学療法	重症心身障害児②
15	講義・実技	平井	小児理学療法	まとめ

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	神経筋系理学療法学										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

神経筋系障害の対象者へ効果的な理学療法を実施するために、妥当な評価に基づいて理学療法プログラムを立案し、実施できる。

《テキスト》

PT・OTビジュアルテキスト 神経障害理学療法学 潮見泰蔵 羊土社

《参考図書》

適宜紹介する。

《目標行動(SBO)》

- ・神経筋系理学療法評価が実施できる。
- ・基本的な神経筋系理学療法プログラムを立案できる。
- ・基本的な神経筋系理学療法を実施できる。

《学生の留意点》

リハ医学・臨床神経学を復習の上、授業に臨むことを心掛ける。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、実技試験30%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	中山	神経障害理学療法学総論①	中枢神経と末梢神経
2	講義	中山	神経障害理学療法学総論②	神経系障害患者への理学療法評価
3	講義	中山	Parkinson病	Parkinson病の病態
4	講義	中山	Parkinson病とその関連疾患	Parkinson病とその関連疾患の評価と治療
5	講義	中山	脊髄小脳変性症	脊髄小脳変性症の評価と治療①
6	講義	中山	脊髄小脳変性症	脊髄小脳変性症の評価と治療②
7	講義	中山	多発性硬化症	多発性硬化症の評価と治療
8	講義	中山	筋ジストロフィー	筋ジストロフィーの評価と治療
9	講義	中山	筋萎縮性側索硬化症	筋萎縮性側索硬化症の評価と治療
10	講義	中山	多発性筋炎、皮膚筋炎	多発性筋炎、皮膚筋炎の評価と治療
11	講義	中山	ギランバレー症候群、重症筋無力症	ギランバレー症候群、重症筋無力症の評価と治療
12	講義	中山	末梢神経障害①	末梢神経障害の病態
13	講義	中山	末梢神経障害②	末梢神経障害の評価と治療
14	講義	中山	脊髄損傷の基礎	脊髄損傷の病態
15	講義	中山	脊髄損傷の完全型・不全型	脊髄損傷の完全型・不全型の評価と治療

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	物理療法学										
担当者氏名	坂田 晋一										
授業方法	演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									
	DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
	DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									
	DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									

《一般教育目標(GIO)》

症例に適切な物理療法の立案と実施手順を行うために物理療法の基本操作を理解・実践する。

《テキスト》

細田多徳監修：『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト：改訂第3版』、南江堂、2021年。

《参考図書》

細田多徳監修：『シンプル理学療法学シリーズ 物理療法学テキスト：改訂第2版』、南江堂、2013年、Michelle H. Cameron 編著、渡部一郎 訳：『EBM物理療法 原著第3版』、医歯薬出版、2015年、柳澤健編集：『コールドマスターズ3物理療法学』、MEDICALVIEW、2009年、大塚彰監修：『学生のための物理療法学』、大学教育出版、2004年

《学生の留意点》

感染対策をお願いします。特に1機器に密集しないで下さい。4人程度の班で各機器10分程度割り当て実技練習します。使用機器の準備と片付けも覚えてお手伝いをお願いします。練習の際には半袖、ハーフパンツ、タオルを持参して下さい。2023年から教科書準拠です。教科書を持参して下さい。物理療法の禁忌など配慮をしますが行き届かない点もあるためお声掛け下さい。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

《目標行動(SBO)》

1. 物理療法の生理的作用と適応を説明できる。
2. 物理療法の禁忌と注意事項を説明できる。
3. 基本的な操作を理解し実施できる。
4. 適切なプログラムを実施できる。

《成績評価の方法》

実技試験（100％）

ルーブリック評価等、確認をお願いします。

試験の際には半袖、ハーフパンツ、タオルを持参して下さい。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・実技	坂田	物理療法概論	物理療法の概要
2	講義・実技	坂田	物理療法概論	物理療法の概要
3	講義・実技	坂田	物理療法概論	物理療法の適応と禁忌：炎症・疼痛ほか
4	講義・実技	坂田	物理療法概論	物理療法の適応と禁忌：炎症・疼痛ほか
5	講義・実技	坂田	熱（温熱）エネルギー	温熱療法：ホットパック、パラフィンほか 適応および禁忌 治療法
6	講義・実技	坂田	熱（温熱）エネルギー	温熱療法：ホットパック、パラフィンほか 適応および禁忌 治療法
7	講義・実技	坂田	熱（寒冷）エネルギー	アイスパック等実施 適応および禁忌 治療法
8	講義・実技	坂田	熱（寒冷）エネルギー	アイスパック等実施 適応および禁忌 治療法
9	講義・実技	坂田	水治療法	温熱療法：渦流浴 寒冷療法：冷水浴 交代浴ほか 適応および禁忌 治療法
10	講義・実技	坂田	水治療法	温熱療法：渦流浴 寒冷療法：冷水浴 交代浴ほか 適応および禁忌 治療法
11	講義・実技	坂田	電磁エネルギー	マイクロ波（極超短波）治療 適応および禁忌 治療方法 光線療法
12	講義・実技	坂田	電磁エネルギー	マイクロ波（極超短波）治療 適応および禁忌 治療方法 光線療法
13	講義・実技	坂田	電気エネルギー	電気刺激療法：低周波電気刺激療法ほか 適応および禁忌 治療法
14	講義・実技	坂田	電気エネルギー	電気刺激療法：低周波電気刺激療法ほか 適応および禁忌 治療法
15	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	超音波療法 適応および禁忌 治療方法
16	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	超音波療法 適応および禁忌 治療方法
17	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	牽引療法 適応および禁忌 治療方法 CPM療法 適応および禁忌 治療方法
18	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	牽引療法 適応および禁忌 治療方法 CPM療法 適応および禁忌 治療方法
19	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	マッサージ・モビライゼーション 適応および禁忌 治療方法
20	講義・実技	坂田	力学的エネルギー	マッサージ・モビライゼーション 適応および禁忌 治療方法
21	講義・実技	坂田	実技練習	ホットパック、パラフィン、アイスパック、渦流浴、マイクロ波、低周波電気刺激、超音波、牽引の実施
22	講義・実技	坂田	実技練習	ホットパック、パラフィン、アイスパック、渦流浴、マイクロ波、低周波電気刺激、超音波、牽引の実施
23	講義・実技	坂田	最新の物理療法を知ろう	酒井医療の最新の物理療法の体験機会（ラジオ波）
24	講義・実技	坂田	最新の物理療法を知ろう	酒井医療の最新の物理療法の体験機会（ラジオ波）
25	講義・実技	坂田	最新の物理療法を知ろう	酒井医療の最新の物理療法の体験機会（高圧の電気刺激療法）他：衝撃波療法、超音波療法
26	講義・実技	坂田	最新の物理療法を知ろう	酒井医療の最新の物理療法の体験機会（高圧の電気刺激療法）他：衝撃波療法、超音波療法
27	講義・実技	坂田	プログラム立案1と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
28	講義・実技	坂田	プログラム立案2と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
29	講義・実技	坂田	プログラム立案3と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う
30	講義・実技	坂田	プログラム立案4と処方	障害モデルの理解 プログラムに必要な要素を理解する 実際に行う

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	日常生活活動論演習										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標 (GIO)》

理学療法士として日常生活動作獲得へ導けるようになるために、日常生活活動に対する個別性・多様性の認識を持ち、実技・体験から理学療法プランを臨機応変に考える必要性を理解する。

《テキスト》

《参考図書》

奈良勲監修：標準理学療法学専門分野『日常生活活動学・生活環境学第4版』医学書院 2012
伊藤利之著：ADLとその周辺 第3版 医学書院2015

《目標行動 (SBO)》

1. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを述べることができる。
2. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを踏まえた対策・動作方法を述べることができる。
3. 疾患に応じたADLの特徴、動作方法、リスクを踏まえた対策・動作方法の指導・介助を行うことができる。

《学生の留意点》

医療福祉の現場で働くための第一歩であることを常に意識してください。
実技は経験する量が大事ですから繰り返して練習してください。

《成績評価の方法》

筆記試験（もしくはワークシート）80% 実技試験20%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を疾患ごとの日常生活を基に臨床思考能力獲得のために活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式 (教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	中山	疾患別各論	【脳血管障害の特性を理解する】①
2	講義	中山	疾患別各論	【脳血管障害の特性を理解する】②
3	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】①
4	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】②
5	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】③
6	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】④
7	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】⑤
8	演習	中山	疾患別各論	【脳血管障害のADL指導】⑥
9	講義	中山	疾患別各論	【関節リウマチの疾患特性とADLの実践】①
10	演習	中山	疾患別各論	【関節リウマチの疾患特性とADLの実践】②
11	講義	岩谷	疾患別各論	【臥位の対応と移乗】①
12	演習	岩谷	疾患別各論	【臥位の対応と移乗】②
13	演習	岩谷	疾患別各論	【シーティング】①
14	演習	岩谷	疾患別各論	【シーティング】②
15	演習	中山	疾患別各論	【高齢者の特性とADL指導】

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	義肢装具学										
担当者氏名	小林 規彦、森田 浩章										
授業方法	実技	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人								
		DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人							○	
		DP3	他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人								
		DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人								

《一般教育目標(GIO)》

1. 対象者の障害に応じた義肢装具の活用方法を知るために、構造や適合、ならびに義肢装具使用による理学療法を理解する。
2. 臨床で義肢装具を活用するために、組立てや調整の技術を習得する。

《テキスト》

『義肢装具学テキスト』第3版、南江堂、2018年。

《参考図書》

日本整形外科学会：『義肢装具のチェックポイント第8版』、医学書院、2014年。

《目標行動(SBO)》

1. 義肢装具使用に至る経緯が説明できる。
2. 各義肢装具の名称・パーツ・機能および適応が説明できる。

《学生の留意点》

疾患や障害に対する理解が必要。知識としての理解とともに、理学療法士の技術として修得するよう心掛け理解を深める。

《成績評価の方法》

装具：筆記試験50% 義肢：小テスト2回25% 課題レポート25%
どちらも60%に満たない場合は、それぞれ再試験となります。

《実務経験のある教員による科目》

当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	演習	小林	義肢学	義肢装具学総論
2	演習	小林	義肢学	義肢学総論①
3	演習	小林	義肢学	義肢学総論②
4	演習	小林	義肢学	切断者の評価②
5	演習	小林	義肢学	切断者の評価①
6	演習	小林	義肢学	断端管理②
7	演習	小林	義肢学	断端管理①
8	演習	小林	義肢学	前7回の振り返り
9	演習	小林	義肢学	足部・足離手
10	演習	小林	義肢学	膝離手
11	演習	小林	義肢学	大腿義足
12	演習	小林	義肢学	下腿義足
13	演習	小林	義肢学	股・膝・サイム・足部義足
14	演習	小林	義肢学	スポーツ・給付制度・その他
15	演習	小林	義肢学	義足歩行
16	演習	小林	義肢学	前7回の振り返り まとめ
17	演習	森田	装具学	下肢装具 総論①
18	演習	森田	装具学	下肢装具 総論②
19	演習	森田	装具学	短下肢装具①
20	演習	森田	装具学	短下肢装具②
21	演習	森田	装具学	長下肢装具・股装具・膝装具①
22	演習	森田	装具学	長下肢装具・股装具・膝装具②
23	演習	森田	装具学	靴型装具①
24	演習	森田	装具学	靴型装具・体幹装具②
25	演習	森田	装具学	下肢装具チェックアウト①
26	演習	森田	装具学	下肢装具チェックアウト②
27	演習	森田	装具学	上肢装具①
28	演習	森田	装具学	上肢装具②
29	演習	森田	装具学	体幹装具①
30	演習	森田	装具学	体幹装具②

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	内部系理学療法学										
担当者氏名	林 佑樹, 笠原 西介										
授業方法	講義・演習	単位数	2	回数	30	時間数	60	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1	人を一人の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人								
		DP2	対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人								○
		DP3	他(多)職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人								
		DP4	専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人								

《一般教育目標(GIO)》

循環器系・呼吸器系・代謝系の内部障害を有する対象者の理学療法評価と理学療法を実施するために、それらの病態・障害特性を理解したうえで、各理学療法を修得できる。

《テキスト》

高橋哲也編：『最新理学療法学講座 内部障害理学療法学』。医歯薬出版。2021年。

《参考図書》

心臓リハビリテーション必携-指導士認定試験準拠-。日本心臓リハビリテーション学会 2011。
千住他監修：『呼吸理学療法標準手技』。医学書院 2008。
その他、適宜紹介する。

《目標行動(SBO)》

1. 内部障害対象者の病態・障害特性を説明できる。
2. 内部障害対象者の理学療法評価が実施できる。
3. 理学療法評価結果をもとに病態を解釈することができる。
4. 内部障害系理学療法を立案できる。
5. 呼吸理学療法手技を実施できる。

《学生の留意点》

臨床医学の中核をなす内部障害系疾患を理解することは、他のリハビリテーション適応疾患や障害に対する理学療法を発展させる基礎になります。重要な項目を授業で取り上げ、主体的に学修することを求めます。

《成績評価の方法》

筆記試験70%、実技試験30%の合計で60%未満は再試験を課す。
筆記試験はA4用紙1枚手書きの資料のみ持ち込み可。

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器の解剖生理学、血液ガスの解釈
2	講義	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器の解剖生理学、血液ガスの解釈
3	実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸機能評価：フィジカルアセスメント、スパイロメトリー、フローボリューム曲線
4	実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸機能評価：フィジカルアセスメント、スパイロメトリー、フローボリューム曲線
5	講義・実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器不全の病態、呼吸器疾患：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、誤嚥性肺炎
6	講義・実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸器不全の病態、呼吸器疾患：慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、誤嚥性肺炎
7	講義・実技	林	呼吸機能障害と理学療法	急性呼吸不全・慢性呼吸不全：人工呼吸器、酸素療法
8	講義・実技	林	呼吸機能障害と理学療法	急性呼吸不全・慢性呼吸不全：人工呼吸器、酸素療法
9	実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸リハビリテーション：コンディショニング、呼吸助動法、排痰手技
10	実技	林	呼吸機能障害と理学療法	呼吸リハビリテーション：コンディショニング、呼吸助動法、排痰手技
11	演習	林	呼吸機能障害と理学療法	症例検討
12	演習	林	呼吸機能障害と理学療法	症例検討
13	実技	林	循環機能障害と理学療法	循環機能評価、フィジカルアセスメント
14	実技	林	循環機能障害と理学療法	循環機能評価、フィジカルアセスメント
15	講義	林	循環機能障害と理学療法	心電図
16	講義	林	循環機能障害と理学療法	心電図
17	実技	林	循環機能障害と理学療法	運動生理学評価
18	実技	林	循環機能障害と理学療法	運動生理学評価
19	演習	林	循環機能障害と理学療法	虚血性心疾患
20	演習	林	循環機能障害と理学療法	虚血性心疾患
21	講義	林	循環機能障害と理学療法	心不全
22	講義	林	循環機能障害と理学療法	心不全
23	講義	笠原	循環機能障害と理学療法	症例検討
24	講義	笠原	循環機能障害と理学療法	症例検討
25	演習	林	循環機能障害と理学療法	閉塞性動脈硬化症
26	演習	林	循環機能障害と理学療法	閉塞性動脈硬化症
27	講義	林	代謝障害と理学療法	糖尿病
28	講義	林	代謝障害と理学療法	糖尿病
29	講義	林	代謝障害と理学療法	慢性腎臓病
30	講義	林	代謝障害と理学療法	慢性腎臓病

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅱ										
担当者氏名	福田 崇										
授業方法	実習	単位数	3	回数	-	時間数	135	開講年次	3	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

診療参加型実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス（臨床思考過程）を包括的に学びます。
また、理学療法士および医療専門職として適切な態度や行動を引き続き養うことを目的としています。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 基本的な評価手技が実施できる。2. 検査結果の解釈・関連性を述べるができる。3. 基本動作の介助が行える。4. 問題点抽出・目標設定・治療プログラム立案を行える。5. オリエンテーションを実施できる。6. 対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。7. 感染予防、医療安全、個人情報保護を実施できる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評価は「合」・「否」の2段階で行います。

《実務経験のある教員による科目》

当該分野における理学療法士としての実務の経験を生かした科目としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1				・夜間部：3年次 2月の3週間（45h*3） ・診療参加型臨床実習教育。
2				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させて頂く。
3				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
4				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	問題解決のための研究法										
担当者氏名	沼尾 拓										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人	○									
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人	○									
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

生涯にわたって科学的、論理的思考力を発展し続ける自己調整学習の習慣を養成するために、問題解決のための研究法を理解する。

《テキスト》

対馬栄輝：『最新理学療法学講座 理学療法研究法』，医歯薬出版，2021年

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

- ・医学統計学の基本を理解する。
- ・EBMの手法を活用できる。
- ・研究的疑問の明確化の方法を説明できる。
- ・研究計画書を作成する..

《学生の留意点》

1年次の「情報社会と情報リテラシー」の授業を基礎として進めていく授業になりますので前もって復習してから望みましょう。授業時間枠だけでは学習時間が不足しますので、課外においてもグループ学習に努めるましょう

《成績評価の方法》

研究計画書・報告書の作成100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は沼尾（理学療法士）が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	沼尾	オリエンテーション	プロフェッショナルとは・研究の必要性・EBPTとは・研究から発表までの流れ
2	講義・演習	沼尾	文献レビュー1	疑問の定式化 PICO (Clinical Question) 文献レビューの方法 課題提出
3	講義・演習	沼尾	文献レビュー2	クリティカルリーディング バイアス
4	講義・演習	沼尾	研究の質・種類	各種研究デザイン 課題提出
5	講義・演習	沼尾	統計1	基本統計量・差の検定・相関・回帰分析
6	講義・演習	沼尾	統計2	正規分布に従わない場合の統計
7	講義・演習	沼尾	統計3	多変量解析
8	講義・演習	沼尾	研究課題の設定	文献（先行研究）レビューの実際 PICO (Research Question) 課題提出
9	講義・演習	沼尾	研究準備1	研究計画書作成
10	講義・演習	沼尾	研究準備2	グループ内デザイン発表 1
11	講義・演習	沼尾	研究準備3	計画書修正 課題提出
12	講義・演習	沼尾	研究準備4	研究倫理 IC 個人情報保護 利益相反
13	講義・演習	沼尾	研究準備5	同意書作成 課題提出
14	講義・演習	沼尾	研究準備6	グループ内デザイン発表 2
15	講義・演習	沼尾	研究準備7	計画書修正 課題提出

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	生命倫理学										
担当者氏名	小川 文子										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

医療者として必須の生命倫理学を修得するために、生命にまつわる倫理を問い直し、生命の尊厳について考えるとともに、専門家としての責任や職業倫理について学ぶこと。

《テキスト》

指定なし。

《参考図書》

必要に応じて、参考文献を紹介する。また、関連する小説、漫画、映画などのメディアも適宜案内する。

《目標行動(SBO)》

1. 生命倫理学の基礎概念について学ぶ。
2. 生命倫理の問題について、多角的に考えることができる。
3. 生命倫理の問題について、自らの言葉で討論できる。

《学生の留意点》

現代社会では倫理的関心は昨今高まる一方であり、科学や医療技術の進歩によって、従来はなかったような新たな倫理的問題が生じている。そこで、生命にまつわる倫理を改めて問い直すことは、医療や福祉の専門家として重要である。

《成績評価の方法》

期末筆記試験60点： 知識問題30点＋論述15点×2題
リアクションペーパー40点： 5点（提出2点＋内容3点）×8回

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、哲学や倫理学が専門の講師が担当し、現場の医療者に寄り添った内容を教授する。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	小川	イントロダクション	倫理とは何か
2	講義	小川	生命倫理の基本	生命倫理とは何か
3	講義	小川	移植医療	脳死と臓器移植，ディスカッション①
4	講義	小川	患者医療者関係①	臨床倫理と医療におけるコミュニケーション
5	講義	小川	患者医療者関係②	自己決定権はどこまで許容されるのか，ディスカッション②
6	講義	小川	誕生をめぐる倫理①	生殖補助医療
7	講義	小川	誕生をめぐる倫理②	人工妊娠中絶と胎児の権利，ディスカッション③
8	講義	小川	最先端医療①	遺伝子・ゲノム医療と再生医療
9	講義	小川	最先端医療②	生命操作とロボット技術，ディスカッション④
10	講義	小川	終末をめぐる倫理①	安楽死と尊厳死
11	講義	小川	終末をめぐる倫理②	ドキュメンタリー作品『彼女は安楽死を選んだ』鑑賞，ディスカッション⑤
12	講義	小川	終末をめぐる倫理③	高齢者と認知症
13	講義	小川	終末をめぐる倫理④	エンドオブライフ・ケア，ディスカッション⑥
14	講義	小川	ノーマライゼーション	障害と医療
15	講義	小川	職業倫理	コンプライアンス，プロフェッショナリズム，行動規範の確認

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	アントレプレナーシップ入門										
担当者氏名	小島 肇、高橋 賢、濱野 智徳、島村 佑樹										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

医療福祉分野の「社会課題」と「自分らしさを活かす」観点から理学療法士としての新たな社会的価値を創出するために、そのマインドや意欲、アイデアを育成し、創業を模範すること。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

独立行政法人中小企業基盤整備機構「令和版 夢を実現する創業」、2023年。

《目標行動(SBO)》

1. 創業の現代的意義を説明できる。
2. 創業に必要な基礎知識を理解できる。
3. 事業計画書を作成できる。

《学生の留意点》

理学療法士の職域を拡大し、社会貢献に寄与する新たなアイデアを求める。

《成績評価の方法》

ワークシート75%、成果物25%。
ワークシートは
毎回(5%)提出していただく。成果物は自身もしくはグループによる「事業計画書」を作成し提出すること(締切 12月23日)。

《実務経験のある教員による科目》

本講座は、実務経験のある理学療法士、公認会計士によって展開される。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	小島	オリエンテーション	理学療法士とアントレプレナーシップ
2	講義	小島	創業までのステップ	創業までのステージを概観
3	講義	高橋	事例①	リハ専門職による創業事例紹介 ～合同会社 SLIST～
4	講義	小島	アイデアをまとめる	「自分のニーズに目を向ける」, 「社会のニーズに目を向ける」
5	講義	小島	事業計画の作成	事業計画とは
6	講義	小島	人・物・金の準備	採用? 必要な物? 資金?
7	講義	小島	創業手続きを行う	書類作成とその提出
8	講義・演習	小島	事業計画書の作成①	ワーク 事業内容, 数値計画の作成
9	講義	小島	事業を始める①	集客・販促のやり方
10	講義	小島	事業を始める②	人事・労務の実際
11	講義	小島	事業を始める③	会計・経理の実務, 税務の実務
12	講義・演習	小島	事業計画書の作成②	ワーク 損益計算書の作成
13	講義	濱野	事例②	会計事務所の立場から
14	講義	島村	事例③	事例紹介 ～フランスの場合～ オンデマンド
15	演習	小島	まとめ	発表 「私の創業計画」

《基礎分野 科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解》

科目名	現代社会と社会保障										
担当者氏名	渋谷 智明										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

社会保障制度を構成する公的扶助、福祉、社会保険制度などの政策理念、機能など具体的施策の内容を理解するために、現代社会の少子高齢化や財政的課題について、英国など先進諸国制度とも比較・検証し、安定的な制度設計を考察する。

《テキスト》

掠野美智子・田中耕太郎：『はじめての社会保障～福祉を学ぶ人へ』、有斐閣アルマ、2024年（第21版）

《参考図書》

必要に応じて提示する。

《目標行動(SBO)》

- 1) 社会保障制度の柱である介護・医療保険・年金・雇用保険などの保険制度の枠組みを説明できる。
- 2) 公的扶助、児童福祉、障害福祉の制度設計の基礎になっている財政（税）と社会保険制度（保険料プラス税）の基盤の相違、現状を説明できる。
- 3) 地域包括ケアシステムを理解し、医療と介護の連携、直面している課題・問題を説明できる。

《学生の留意点》

テーマ内容について、テキスト、参考書及び関連資料・文献等を基に事前学習をする調査・分析作業を導入します。

《成績評価の方法》

課題100%（最終講義で課す課題レポートを中心に評価、1～14回の課題も評価の対象とします）

《実務経験のある教員による科目》

本科目は、社会保障制度に熟知した講師が担当し、その実務経験を生かした講義内容としている。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	渋谷	ガイダンスー社会保障制度とは	欧米の現行社会保障制度の現状の中で、日本の社会保障制度の位置づけと、提供するサービスがどのように機能し、またどのような課題を抱えているのかを概説する。
2	講義	渋谷	社会保障の概念整理	サービスの形態と社会のセーフティネットとしての社会保障の役割、日本国憲法、基本的人権に基づく扶助、社会福祉と社会保険の理論と定義の概念整理。
3	講義	渋谷	社会保障の歴史	エリザベス1世の救貧論から産業革命を経てドイツの社会保険論へ、日本の社会保障における慈善、社会事業家論からナショナルミニマム、戦後の国民皆保険論まで。
4	講義	渋谷	社会福祉①扶助	扶助（生活保護）、児童、母子、高齢者福祉
5	講義	渋谷	社会福祉②障害福祉	障害者総合支援制度と障害程度区分の導入、3障害の一体的支援。
6	講義	渋谷	社会福祉③障害福祉	在宅、施設サービスの多様化と自立支援。措置制度による提供サービスから契約制度への移行と就労支援。
7	講義	渋谷	公的医療保険制度①制度の概要	国民健康保険制度と被用者保険制度、保険者と被保険者の概念整理。償還払い制度と診療報酬、給付と自己負担。
8	講義	渋谷	公的医療保険制度②保険給付	保険適用の医療保険給付サービスと、保険外自由診療、混合診療。
9	講義	渋谷	公的医療保険制度③医療提供体制	診療所と病院の機能分化と体系化。
10	講義	渋谷	公的医療保険制度と公的介護保険制度の連携	カルテ開示、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、訪問看護・リハビリ医療と介護の連携、地域包括ケア。
11	講義	渋谷	公的介護保険制度①制度概要	保険者と被保険者の保険料、要介護認定制度、財政基盤の課題。
12	講義	渋谷	公的介護保険制度②保険給付	施設・在宅、地域密着型介護保険給付サービスと、要支援者の総合支援、提供体制・事業者。
13	講義	渋谷	公的年金制度①制度概要	保険者と被保険者、国民年金、厚生年金の仕組み、基礎年金の保険料と公費拠出、強制加入と猶予・免除制度。
14	講義	渋谷	公的年金制度②老齢年金	老齢年金の支給開始と繰り上げ・繰り下げ支給、障害年金、遺族年金、給付と負担のバランスと賦課方式の課題。
15	講義	渋谷	雇用保険、労働災害者保険とまとめ	派遣、非正規雇用と保険・補償、まとめとして、日本の社会保障制度の制度改革論争の検証、社会保障の安定的かつ持続的運営システムに関する提言と今後の展望、以上。

《専門基礎分野 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進》

科目名	精神医学概論										
担当者氏名	河野 達哉										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

精神疾患のある対象者を的確に理解し、理学療法へ展開するために、主な精神障害および疾病の症状、それに対する一般的な治療について学ぶ。

《テキスト》

上野 武治：『標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版増補版』、医学書院。

《参考図書》

尾崎 紀夫：『標準精神医学 第7版』、医学書院、2018
大熊 輝雄：『現代臨床精神医学改訂第12版』、金原出版株式会社、2013

《目標行動(SBO)》

1. 精神医学の定義と関連領域について説明できる。2. 精神障害および精神障害者に関する概念について説明できる。3. 精神障害の成因と分類について説明できる。4. 精神障害の際に出現する精神症状について説明できる。5. 主な疾患についての診断と評価、治療について説明できる。6. 精神障害者が利用できる精神医療・福祉制度について説明できる。

《学生の留意点》

授業形態はオンデマンド型です。 毎回の課題提出によって出席とします。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験）100%

《実務経験のある教員による科目》

当該分野におけるセラピストとしての実務の経験を、精神医学の基礎という観点から授業内容に生かした科目としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	河野	総論	精神医学とは・精神障害の成因と分類
2	講義	河野	〃	精神機能の障害と精神症状 当事者が語る症状とは 動画みて感じる。
3	講義	河野	〃	精神障害の診断と評価 診断の手順はあるのか、病識がないとは何か、
4	講義	河野	各論	脳器質性精神障害 認知症 てんかん
5	講義	河野	〃	症状性精神障害・精神作用物質
6	講義	河野	〃	統合失調症（1）
7	講義	河野	〃	統合失調症（2）
8	講義	河野	〃	気分（感情）障害
9	講義	河野	〃	神経症性障害（不安症・強迫症・解離症・身体症状症他）
10	講義	河野	〃	パーソナリティ障害 摂食障害
11	講義	河野	〃	心理的発達障害 知的能力障害 自閉スペクトラム症
12	講義	河野	〃	心理的発達障害 注意欠如・多動症 児童の不安症 アタッチメントの障害
13	講義	河野	〃	精神障害者の雇用促進と就労支援
14	講義	河野	〃	精神保健医療福祉の制度
15	講義	河野	〃	精神障害リハビリテーション 薬物療法

《専門基礎分野 保健医療福祉とリハビリテーションの理念》

科目名	保健医療福祉連携論										
担当者氏名	中山 雅和										
授業方法	講義	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

保健/医療/福祉の現場におけるチームワークの構築/目標達成のため、多職種連携とそのコンピテンシーを修得する。

《テキスト》

なし。

《参考図書》

はじめてのIP・連携を学びはじめる人のためのIP入門/大嶋伸雄

《目標行動(SBO)》

- 1 連携の必要性について説明できる。
- 2 多職種の仕事とその専門性について説明できる。
- 3 チーム医療の中の理学療法士の専門性について説明できる。
- 4 各病期の多職種連携について説明できる。
- 5 多職種と連携し事例について最適な関わりを想定することができる。

《学生の留意点》

授業内でグループワークを行うため、積極的な参加を期待します。

《成績評価の方法》

毎回の課題 100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	中山	オリエンテーション, 総論	保健医療福祉の今日的課題を踏まえ、関連する職種が連携する意義を学ぶ。そのうえで、理学療法士との関連を理解し、コース全体の流れ、そして到達目標を理解する。
2	講義	中山	連携の経験	自分の過去の経験から他人と「連絡」「連携」して行ったことを思い出し、共有する。
3	講義	中山	「連携」の必要性 「チームビルディング」	「連携」の成功例を想定し、その必要性について考え、「チームビルディング」について学ぶ。
4	講義	中山	理学療法士の役割	チーム医療の中の理学療法士の役割、備えるべき能力、専門性について考える。
5	講義	中山	訪問・通所サービスにおける連携①	訪問リハビリテーションにおける連携の実際
6	講義	中山	訪問・通所サービスにおける連携②	通所リハビリテーションにおける連携の実際
7	講義	中山	リハビリテーション職種の連携①	作業療法学科の学生と事例を通しての連携を経験する。
8	講義	中山	リハビリテーション職種の連携②	作業療法学科の学生と事例を通しての連携を経験する。
9	講義	中山	リハビリテーション職種の連携③	作業療法学科の学生と事例を通しての連携を経験する。
10	講義	中山	リハビリテーション職種の連携④	作業療法学科の学生と事例を通しての連携を経験する。
11	演習	中山	ワークショップ① 東京警察看護学校と	事例検討① 事例の把握
12	演習	中山	ワークショップ② 東京警察看護学校と	事例検討② 理学療法士の役割
13	講義	中山	他職種連携の実際①	外部講師による実際の連携について
14	講義	中山	他職種連携の実際②	外部講師による実際の連携について
15	講義	中山	まとめ	まとめ

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習Ⅳ										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲ（インターン実習）の目標を達成するために、検査測定技術、治療技術や臨床推論についての振り返りを行う。更に、臨床実習Ⅲについて振り返り、各々の課題を見つけることができ、理学療法士として働くまでに学習すべき内容と学習プランを挙げられる。

《テキスト》

適宜資料を配布する。

《参考図書》

適宜紹介する。

《目標行動(SBO)》

1. 臨床実習Ⅲ（インターン実習）の目的を説明できる。
2. 基本的な「検査測定」を実施できる。
3. 基本的な「治療」を実施できる。
4. 検査測定結果の解釈や統合が実施できる。
5. 動作観察と分析が実施できる。

《学生の留意点》

臨床の場で行う実践演習であることを自覚し、主体的な学びを心がけること授業時間外の復習によってその成果が大きく左右されますので、積極的な取り組みを期待します。

《成績評価の方法》

実技試験100%

《実務経験のある教員による科目》

当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を臨床能力獲得と必要な知識の獲得に活かした授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	実技	佐々木	理学療法検査測定	基本動作介助/バイタルサイン/四肢長周径
2	実技	佐々木	理学療法検査測定	ROMT/MMT/神経学的検査
3	実技	佐々木	理学療法検査測定	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定を実施
4	実技	佐々木	理学療法プロセス(臨床思考過程)	情報収集/問題点抽出/目標設定/プログラム立案
5	実技	佐々木	理学療法プロセス(臨床思考過程)	情報収集/問題点抽出/目標設定/プログラム立案
6	実技	佐々木	治療プログラム	機能障害(関節可動域拡大/筋力増強など)
7	実技	佐々木	治療プログラム	動作(基本動作練習/筋力増強など)
8	実技	佐々木	治療プログラム	運動器疾患の理学療法プログラム
9	実技	佐々木	治療プログラム	中枢神経疾患の理学療法プログラム
10	実技	佐々木	治療プログラム	対象者を想定し一連の流れの中で検査測定・治療プログラムを実施
11	講義	佐々木	実習オリエンテーション	臨床実習Ⅲの目的、臨床実習ガイド読み合わせ、体調不良時の対応など
12	演習	佐々木	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例の記録(カルテ)」の書き方 ～SOAPを深める～
13	演習	佐々木	臨床実習ポートフォリオ	「経験症例のまとめ」書き方 ～統合と解釈/治療の考察～
14	実技・演習	佐々木	理学療法検査測定・治療技術の確認(実技試験)	検査測定・治療技術の確認とフィードバック
15	実技・演習	佐々木	理学療法検査測定・治療技術の確認(実技試験)	検査測定・治療技術の確認とフィードバック

《専門分野 基礎理学療法学》

科目名	理学療法演習 V										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標 (GIO)》

臨床実習で学んだ具体的な事例を知識として確認することができるようになる。

《テキスト》

《参考図書》

国試の達人
クエスチョン・バンク
PT・OT国家試験共通問題 できるもん・でたもん

《目標行動 (SBO)》

1. 基礎医学・臨床医学・理学療法の知識を確認・説明できる。
2. 基礎医学・臨床医学・理学療法の知識の臨床応用を説明できる。

《学生の留意点》

基礎医学と臨床医学を理解するためのグループ学習を行い、知識の定着を確認することが繰り返されます。

《成績評価の方法》

筆記テスト100%（小テスト・まとめテストに配分していくことがある）

《実務経験のある教員による科目》

“当科目は理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容になっている。

《授業計画》

回	形式 (教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	佐々木	小テスト・復習GW①	運動系解剖生理
2	講義	佐々木	小テスト・復習GW②	運動学ROMMT
3	講義	佐々木	小テスト・復習GW③	内臓系解剖生理
4	講義	佐々木	小テスト・復習GW④	骨関節整形
5	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑤	中枢脊損
6	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑥	神経筋
7	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑦	内部
8	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑧	リハ医学
9	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑨	精神心理発達小児
10	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑩	補装具物療ADL
11	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑪	運動系解剖生理②
12	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑫	運動学ROMMT②
13	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑬	内臓系解剖生理②
14	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑭	骨関節整形②
15	講義	佐々木	小テスト・復習GW⑮	中枢脊損②

《専門分野 理学療法管理学》

科目名	理学療法管理学										
担当者氏名	小宮山 一樹										
授業方法	実習	単位数	2	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

社会から求められる理学療法を提供し続けるために、理学療法士として職場管理において求められる管理業務や理学療法士教育の基本について学ぶ。

《テキスト》

特に指定しない。

《参考図書》

斎藤秀之、能登真一編集「リハビリテーション管理学」、医学書院 2020年。
斎藤昭彦、下田信明編集「リハビリテーション管理学」、羊土社 2020年。

《目標行動(SBO)》

1. 社会保障制度を説明できる。
2. リスク管理について説明できる。
3. 情報・労務管理について説明できる。
4. 卒後教育を説明できる。
5. PTに必要な教育学・教育心理学を説明できる。
6. 目指すべき職場を創造できる。

《学生の留意点》

理学療法士を業として生活するために、また組織として理学療法士が社会に貢献するために、必要な知識を学ぶ科目です。

《成績評価の方法》

小テスト40% 成果物・レポート60%

《実務経験のある教員による科目》

本科目は理学療法士が担当し、その実務経験から臨床現場に即した授業を展開します。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	小宮山	管理学とは	管理学を学ぶ意味 管理学とは 運営とは 組織とは
2	講義・演習	小宮山	理想の職場を考える	理想の職場の条件とは
3	講義・演習	小宮山	理想の上司を考える	理想の上司の条件とは
4	講義・演習	小宮山	社会保障制度	医療保険・介護保険・診療報酬
5	講義・演習	小宮山	労務管理①	リスク管理とは KYTトレーニング
6	講義・演習	小宮山	労務管理②	リハビリテーション室のリスク
7	講義・演習	小宮山	労務管理③	情報管理 労務管理 人事管理等
8	講義・演習	小宮山	教育①	人材育成(新人教育・中間管理職育成)
9	講義・演習	小宮山	教育②	理学療法士に必要な教育学・教育心理学
10	講義・演習	朝日	管理の実際①	管理者による具体例の提示
11	講義・演習	朝日	管理の実際②	管理者による具体例の提示
12	演習	小宮山	ワーク① 理想の職場を創ろう	理学療法室の立ち上げシュミレーション演習
13	演習	小宮山	ワーク② 理想の職場を創ろう	理学療法室の立ち上げシュミレーション演習
14	演習	小宮山	ワーク③ 理想の職場を創ろう	理学療法室立ち上げプレゼンテーション資料の作成
15	演習	小宮山	ワーク④ 理想の職場を創ろう	発表

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	義肢装具学演習										
担当者氏名	小林 規彦、森田 浩章										
授業方法	実技	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

- 義肢装具使用による理学療法を知るために、模擬体験を通し理解を深める。
- 義肢装具の材料や機能を理解するために、模擬的な制作過程を実施する。

《テキスト》

『義肢装具学テキスト』第3版、南江堂、2018年

《参考図書》

日本整形外科学会：『義肢装具のチェックポイント第8版』、医学書院、2014年。

《目標行動(SBO)》

- 義肢装具使用時における諸問題を説明できる。
- 各義肢装具の選択・チェックアウトができる。

《学生の留意点》

理学療法における治療法の1つとして装具を用いることができるように知識だけでなく、装着しながら慣れる。

同様に、義肢装着者に対する理学療法全般を経験とともに知識や技術を定着するよう取り組む。

《成績評価の方法》

装具：筆記試験（口頭試問形式） 50% 義肢：課題3題 50%
どちらも60%に満たない場合は、それぞれ再試験となります。

《実務経験のある教員による科目》

当科目担当は、臨床実務経験ならびに当該学会情報をもとに最新の知識や技術を紹介する授業としている。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	演習	小林	義肢学	断端管理法
2	演習	小林	義肢学	大腿義足ソケットの特徴②
3	演習	小林	義肢学	大腿義足ソケットの特徴①
4	演習	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足歩行
5	演習	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足の異常歩行
6	演習	小林	義肢学	下腿義足・大腿義足のアライメント
7	演習	小林	義肢学	義手の構造・理学療法の流れ・ADL
8	演習	森田	装具学	
9	演習	森田	装具学	長下肢装具・短下肢装具①
10	演習	森田	装具学	長下肢装具・短下肢装具②
11	演習	森田	装具学	股装具・膝装具①
12	演習	森田	装具学	股装具・膝装具②
13	演習	森田	装具学	体幹装具・上肢装具①
14	演習	森田	装具学	体幹装具・上肢装具②
15	演習	森田	装具まとめ	まとめ、試験説明

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	高齢期理学療法学										
担当者氏名	中村 壮大										
授業方法	演習	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割を理解し、高齢者を対象とした理学療法評価や治療立案を実施できるようにするために、高齢者の特性や代表的な疾患について理解する。

《テキスト》

島田祐之：高齢者理学療法学。医歯薬出版株式会社。2017。

《参考図書》

- 1) 奈良勲：関節可動域。運動と医学の出版社。2023。
- 2) 高齢者理学療法学テキスト。南江堂。
- 3) 老人のリハビリテーション。医学書院。

《目標行動(SBO)》

- 1) 地域包括ケアシステムにおかえる理学療法士の役割について説明できる。
- 2) 高齢者の特性などについて説明できる。
- 3) 加齢に伴う生理機能の変化について説明できる。
- 4) 高齢者の身体機能評価について説明できる。
- 5) 高齢者に対する各種理学療法について説明できる。

《学生の留意点》

・医療における臨床や地域における介護予防において、高齢者を対象とした場面は非常に多く、理学療法の知識とスキルはとても役立ちます。
・高齢者の特性を理解し、また高齢者特有の疾患を理解すると共に、それらの評価や理学療法について習得することは重要です。

《成績評価の方法》

期末試験（筆記試験100%）

《実務経験のある教員による科目》

当科目は、理学療法士が担当し、その実務経験を活かした内容である。

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1	講義・演習	中村	高齢者の特徴①	老年症候群、フレイル、サルコペニア、他
2	講義・演習	中村	高齢者の特徴②	低栄養、尿失禁、摂食嚥下障害、他
3	講義・演習	中村	加齢に伴う変化①	生理機能の変化
4	講義・演習	中村	加齢に伴う変化②	体力の変化
5	講義・演習	中村	加齢に伴う変化③	姿勢・歩行機能の変化
6	講義・演習	中村	加齢に伴う変化④	精神・心理機能・認知機能の変化
7	講義・演習	中村	高齢者の身体機能評価	筋、運動機能、姿勢、歩行機能の評価、他
8	講義・演習	中村	高齢者のADL・生活機能評価	ADL評価、生活機能評価、他
9	講義・演習	中村	理学療法のエビデンス	高齢者に対する理学療法のエビデンス
10	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援①	健康増進、疾病予防と行動科学
11	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援②	行動科学の基礎となる心理学の理論
12	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援③	動機づけ理論
13	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援④	健康支援に対する行動変容技法の利活用
14	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援⑤	個人の健康支援に対する行動科学的アプローチ
15	講義・演習	中村	行動科学に基づいた健康支援⑥	集団の健康支援に対する行動科学的アプローチ

《専門分野 理学療法治療学》

科目名	理学療法技術論										
担当者氏名	藤川 明代										
授業方法	実技	単位数	1	回数	15	時間数	30	開講年次	4	開講時期	後期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										

《一般教育目標(GIO)》

社会で求められる理学療法技術を習得するために、最先端の理学療法技術を学ぶ。

《テキスト》

資料があれば、授業の中で配布する。

《参考図書》

授業中に提示する。

《目標行動(SBO)》

各テーマの理学療法技術について、体験できる。

《学生の留意点》

特に指定がない限り、実技練習ができる服装で参加すること。

《成績評価の方法》

毎回のリフレクションシートによって評価する（100％）。

《実務経験のある教員による科目》

実務経験がある理学療法士が担当する。

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1	講義	外来講師	疼痛①	急性疼痛に対する理学療法
2	講義	外来講師	疼痛②	慢性疼痛に対する理学療法
3	実技	外来講師	気道吸引①	気道吸引
4	実技	外来講師	気道吸引②	気道吸引
5	実技	外来講師	PNF①	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
6	実技	外来講師	PNF②	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
7	実技	外来講師	PNF③	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
8	実技	外来講師	PNF④	Proprioceptive Neuromuscular Facilitation
9	実技	外来講師	ロボットリハビリテーション①	ロボットリハビリテーション
10	実技	外来講師	ロボットリハビリテーション②	ロボットリハビリテーション
11	実技	外来講師	パラスポーツ①	パラスポーツの歴史
12	実技	外来講師	パラスポーツ②	パラスポーツ実技
13	講義	外来講師	精神疾患①	精神疾患に対する理学療法（細井）
14	講義	外来講師	精神疾患②	精神疾患に対する理学療法（細井）
15	講義	外来講師	がんのリハビリテーション①②	がんのリハビリテーションにおける理学療法（市川）

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅲ-A										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	実習	単位数	7	回数	-	時間数	315	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力	DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人										○
	DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人										○
	DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人										○
	DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人										○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲは、これまでに学内教育および臨床見学実習、臨床実習Ⅰ・Ⅱを通して学んだ各理学療法理論と実践を最終的に統合し、学習する機会となる。診療参加型臨床実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス（臨床思考過程）、治療の実施、治療効果判定等を包括的に学ぶ。特に経験症例のまとめでは理学療法プロセスを中心にまとめをおこなう。

《テキスト》

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 検査結果の解釈を具体的に述べるができる。2. 基本動作の介助が行える。3. 対象者に合った問題点抽出・目標設定・プログラム立案を行える。4. 治療プログラムを実施・変更できる。5. 対象者に対し検査測定や治療に関するリエンションを実施できる。6. 対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。7. 基本的医療コミュニケーションを実践できる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「優」・「良」・「可」・「不可」の4段階で行います。

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	形式（教室）	担当者	テーマ	学習内容
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				・夜間部：4年次 4～6月の7週間（45h*7） ・診療参加型臨床実習教育。
8				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させて頂く。
9				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
10				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
11				
12				
13				
14				
15				

《専門分野 臨床実習》

科目名	臨床実習Ⅲ-B										
担当者氏名	佐々木 亮平										
授業方法	実習	単位数	7	回数	-	時間数	315	開講年次	4	開講時期	前期
ディプロマポリシーに基づいて 重点的に身につける能力		DP1 人を一個の人格として尊重し、人の思いや痛み、苦しみや喜びに共感できる人									○
		DP2 対象となる人に対し、医学的にだけでなく、生活している環境に対しても働きかけられる人									○
		DP3 他（多）職種との連携を理解し、常に対象となる人にとって最善の支援を追求できる人									○
		DP4 専門職として生涯研鑽し、自己と専門職の発展のために行動できる人									○

《一般教育目標(GIO)》

臨床実習Ⅲは、これまでに学内教育および臨床見学実習、臨床実習Ⅰ・Ⅱを通して学んだ各理学療法法の理論と実践を最終的に統合し、学習する機会となる。診療参加型臨床実習の中で多くの診療場面を見学、協同参加、実施しながら、理学療法プロセス(臨床思考過程)、治療の実施、治療効果判定等を包括的に学ぶ。特に経験症例のまとめでは治療プログラムの実施を中心にまとめをおこなう。

《テキスト》

《参考図書》

《目標行動(SBO)》

1. 検査結果の解釈を具体的に述べることができる。2. 基本動作の介助が行える。3. 対象者に合った問題点抽出・目標設定・プログラム立案を行える。4. 治療プログラムを実施・変更できる。5. 対象者に対し検査測定や治療に関するリエンションを実施できる。6. 対象者や臨床実習指導者・スタッフに対して適切な人間関係を構築することができる。7. 基本的医療コミュニケーションを実践できる。

《学生の留意点》

《成績評価の方法》

最終的な単位認定は、臨床実習指導者による臨床評価と実習後セミナー、臨床実習ポートフォリオの内容を総合的に勘案して学院が決定します。評定は「優」・「良」・「可」・「不可」の4段階で行います。

《実務経験のある教員による科目》

《授業計画》

回	形式(教室)	担当者	テーマ	学習内容
1				
2				
3				・夜間部：4年次 6～7月の7週間 (45h*7) ・診療参加型臨床実習教育。
4				・実習指導者に帯同し、業務の周辺より参加させて頂く。
5				・対象者への侵襲程度が低いレベルから、徐々に、情報収集、検査測定、臨床推論、治療プログラム立案の一連の評価過程を実習する。
6				・教育評価はOSCEを実習前に実施し、実習の成果を実習後、評価する。
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				